

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会

1. 法人事業活動総括

法人理念である「自助・互助・共助・公助、4つのバランスの取れた福祉・地域共生社会の実現」を目指し、社会福祉法人サンシャイン会は令和5年4月1日(職員数127名体制)で事業開始し、3拠点17種類20指定サービスを展開し、高齢者・障がい者福祉サービス、公益事業を実施し令和6年3月31日現在(職員数130名体制)で地域の多様なニーズに対応して事業展開を行った。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大・収束が全国的に波打つ形ではあったが、その落ち着いているタイミングにできる取組を考え、面会、交流行事は実行に移してきた。ウィズコロナやアフターコロナと言われるようにコロナウイルス感染症と、どう付き合いながらノーマルな生活を取り戻していくのが模索される年度になったのではないかと感じている。

令和3年度から持続可能な開発目標(SDGs)についての活動を実施している。SDGsとは国連が掲げる「誰一人取り残さない」というもので、SDGsの理念は地域共生社会の構築を主導する社会福祉法人のあり方に共通する考え方になっている。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓って進める行動指標である。

事業所や委員会で模索した結果、次年度も、目標3)すべての人に健康と福祉を：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。目標8)働きがいも経済成長も：すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用および、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する。目標14)海の豊かさを守ろう：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。これら3つの取組を進めていくこととなった。

そして、地域交流行事の一環として、毎年、実施していた春・秋の地域交流昼食会、創立記念夏祭り、敬老会は多少の制限を設けながら開催した。また、ご利用者の生活の質の向上を目標にグリーンクラブ(園芸・菜園)の充実や四季折々の恵みを使った保存食やおやつ作りに取り組み施設内での楽しみ行事も充実した。また、小豆地区部会人権擁護委員(事務局は高松法務局)と連携して実施している「心配ごと相談」と「人権擁護キャンペーン」は感染予防対策を講じた上で年3回実施し、高齢者・障害者の権利擁護、虐待防止という位置づけの組織活動と連携・協力して実施することができた。

さらに、職員による地域貢献(一職員一地域貢献)の活動は、地域活動推進委員会を中心にクリーン作戦を月1回のペースで実施して、広報誌を配布することやSNSを活用して地域の信頼につながる情報発信を行なった。

加えて、県内における地域における公益的取り組みとして、香川県社会福祉協議会をプラットフォームに社会福祉法人、市町社協や関係機関が連携しオール香川で取り組んでいる「香川おもいやりネットワーク事業」、「香川県災害福祉支援ネットワーク(協議会)構築事業」「香川県小規模社会福祉法人等のネットワーク化推進事業」等にも積極的に参加、協力した。

また、嘱託医である前田正健医師(みなと診療所院長)、協力病院である小豆島中央病院と連携を取り、利用者の健康管理に努めた。職員の健康管理に関しては産業医である日野博夫医師を招聘して毎月、衛生委員会を開催し、職員の健康管理、健康増進に努めた。

今年度の特筆すべき機材購入、修繕等の事業としては

- | | | |
|---------|----------------------|-------|
| (1)特 | 養・・・日立空調設備オーバールール・・・ | 165万円 |
| | 土留木矢板設置工事・・・ | 102万円 |
| | 軽自動車購入(電気自動車)・・・ | 272万円 |
| (2)各事業所 | ・・・ホームページリニュアル・・・ | 199万円 |
| | ポータブル電源・発電機・・・ | 133万円 |

2. 理事会、評議員会の開催状況

理事会

- ・令和5年6月 8日
- ・令和5年6月26日（新理事会）
- ・令和6年1月26日（招集手続き省略・書面）
- ・令和6年3月13日

評議員会

- ・令和5年6月26日
- ・令和6年3月25日

3. 監事監査の実施状況

令和5年5月25日 岡田紀一監事 柴崎勲監事 出席
 社会福祉法 第40条及び関係法令に基づき実施

4. 行政機関の指導監査状況

デイサービスセンターサンライズ西村

令和5年10月18日 文書指摘あり（令和5年11月2日是正・改善報告済み）

訪問介護事業所サンシャイン（障害）

令和5年11月28日 文書指摘あり（令和6年2月22日是正・改善報告済み）

軽費老人ホームシーサイドサンシャイン

令和5年12月 1日 文書指摘なし

上記内容については、令和6年3月理事会および評議員会で報告

5. 苦情受付の状況

番号	受付日	申立者	事業所	苦情内容	要望	対応内容	結果	第三者委員 報告日
1	4月13日	入所者 家族	リベラル 別館	①通院について看護職員は3人しか居ないので早い時間の対応が難しく時間を変更して欲しいと言われた。病院を嘱託医の居る病院に変更するように言われた。（職員配置等については説明は受けていない） ②受診をする際に検尿をお願いしていたが、容器の紛失や忘れていたことが2回あった。持参する書類も忘れていた。 ③状況説明をする際、「この人」「アルツハイマーの人は」と説明され不快だった。	改めて ほしい	職員の言葉遣いや対応について、謝罪を行った。窓口が一本化されていないことも理由のひとつだったため、受診対応は看護師が窓口になり対応を行う。病院の変更は、本人の状態をみながら、家族と相談をしたうえで考えていくことを伝える。説明時には相手が理解できるように、丁寧に説明を行う。	4月13日 完了	6月26日
2	5月12日	軽費老人 ホーム 利用者	シーサイド サンシャイン	前年度から意見を伝えしたが、なかなか対応してくれない。以下の内容について返答が欲しい。 ①抗原検査を無料でしてくれるところがあるのに、施設（実費）検査が必要なのか ②施設職員は抗原検査、講習を受けているのか。 ③コロナ陽性になっても入院等の対応をしてくれなかった。 ④食堂で利用者の検温・血圧測定を行うのはおかしい。 ⑤利用者に熟食指導をしているのに、職員間での私語がある。 ⑥受診送迎が曜日により方面を決めているが、自分が行きたい日に対応がないので不公平感がある。	回答が 欲しい	①無料で検査行う場所はあるが、症状がない人が対象で、発熱等の症状があったため、嘱託医指示のもと施設での抗原検査を実施した。 ②講習等はないが、看護職員が対応している。 ③隔離用ホテル利用について保健所に確認したが疾患があるため難しいとのことで施設での対応となった。 ④全員が対象ではなく、職員対応が必要な人のみ実施している。 ⑤食事中、職員はマスク着用で対応しているが業務上、必要な会話をしている。 ⑥送迎に関しては、通院の多い方面について曜日を追加して対応する。問合せについて対応が遅かったため、今後は早急に話し合いを行い対応していく。	5月15日 完了	6月26日
3	11月2日	利用者 家族	デイサービス 北のおひさま	帰宅後、利用者に預かった現金が返ってきていないと一緒に利用している夫より、連絡があり、送り時に息子さん宅へ返したが、不在だったため、利用袋に入れて連絡ノートにその旨を記載し、ポストへ投函したと伝える。その後、現金はあったと連絡あり。息子より不在にすることもあり、ポストや利用ノートを見ないこともあるため、夫に返すか、電話連絡がほしかった。と、報告があった。	改めて ほしい	利用者の預かり物を家族等に返却する場合は手渡しを基本とし、不在等の理由で実行できなかった場合は、電話連絡を行う。	11月2日 完了	11月16日

6. 職員の状況（令和6年3月31日現在）

	軽費	特養	本部 デイ	北 デイ	西 デイ	GH	居支 訪問	給食	事務	小規模	合計
常 勤	6	35	3	2	2	7	3	3	5	5	71
非常勤	3	7	7	5	4	8	6	9	2	8	59
合 計	9	42	10	7	6	15	9	12	7	13	130

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
経営品質向上委員会

1. 実施内容

【地域公益の視点】

①非常災害に対する備え

- ・地震に関するBCPの策定が完了。（令和6年4月1日付）
- ・備蓄食は軽費、特養共に7日分の非常食と水を購入した。
- ・B棟1階トランクルームを整理し棚を購入。備蓄食を見やすく区切り保管できた。

【財務の視点】

①福利厚生の充実

- ・新年会、新人歓迎会はオンラインにて開催。共に100名近くが参加できた。
- ・サップサークルで使用していたサップを保管する為、木枠、ブルーシート等で整備した。
- ・令和6年度から正式に運動サークルが活動できるように、令和5年2月にサークル活動の申請を行った。
- ・5日以上取得することが義務付けられている職員は全員が有給取得できた。

②消耗品コストの削減

- ・消耗品のコストが値上がりしている為、各販売業者からの連絡が届く度、コストの見直しを行った。
- ・節電ポスターを利用した呼びかけや、使用量の一覧表から前年度と比較を行い節電の働きかけを行った。
- ・節電の為、二つの事業所と特養B棟の一か所のリビングにサンシェードを設置できた。

【業務プロセス】

①人材確保と定着

- ・高校生の研修やインターンシップ、体験学習、施設見学、ボランティアの受け入れ等、学生を中心に働きかけができています。
- ・雇用条件等を見直し令和5年度には9名採用された。

2. 実施内容から見えてきた課題(問題点・改善.)と今後の展開

- ・令和6年度から必須とされているBCPの策定は作成できているが、訓練や研修の実施も義務付けられている。その都度、内容を見直していく必要がある。また、関係機関や地元企業との協定の締結も進める。
- ・運動が苦手な職員が参加できるサークル、子育て中の職員が参加できるサークル等の立上げも視野に入れ活動する
- ・人材の定着に向け、働きやすい職場づくりを目指す
- ・次年度は活動の項目を絞り込んで取り組む

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
研修委員会

1. 実施内容

- ・施設内研修の実施
 - 令和5年 4月 1日 新人職員オリエンテーション 4名
 - 令和5年 6月12日 普通救命講習Ⅱ（小豆消防本部） 5名
 - 令和5年 7月会議時 身体拘束・虐待防止研修（資料配布）
 - 令和5年 8月会議時 ハラスメント研修（資料配布）
 - 令和5年 8月21日 転倒予防研修（徳武産業（株）社長 徳武聖子様） 21名
 - 令和5年 8月26日 バリデーション研修（アポージョ代表 永田美樹様） 13名
 - 令和5年10月12日 BCP（災害）研修（三浦） 25名
 - 令和5年11月16日 苦情対応研修会（外部研修併用） 12名
 - 令和5年11月20日 消火訓練（小豆消防本部） 4名
 - 令和6年 1月会議時 身体拘束・虐待防止研修（資料配布）
- ・キャリアパス表の見直し
変更なし。
- ・研修一覧の作成
既存研修を主に必須研修も含め作成。その都度、追加。

2. 実施内容から見えてきた課題（問題点・改善点）と今後の展開

施設内研修については、追加したものを含めてほぼ予定通り実施することができたものの、身体拘束防止・虐待防止・事故防止等の必須研修については、集合形式での開催は難しく、資料配布のみとなった。

令和6年度は、研修内容に合わせて集合形式と資料配布による各事業所で行う形式を組み合わせて計画したい。また、介護報酬改定により必須研修（法定研修）が多くなっていることから、今後も施設内研修は必須研修が中心となる可能性が高い。そのため、職員のスキルアップや意欲向上を目的とした階層別研修の受講については、外部研修への参加を随時検討する。さらに、職員が資格取得に対して前向きになれるよう資格取得支援制度を再構築し、職員が定着できる働きやすい職場となる必要がある。研修委員会としてできるサポートを行っていきたい。

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
広報委員会

1. 実施内容

●施設内広報誌（職員のための広報誌）

- ・新人職員歓迎会にて新人職員紹介を配布。
- ・家族にも見て頂けるよう各部署のお便りに SNS の QR コードを掲載。
- ・「職場のハラスメントについて」研修委員会と協力して作成。
- ・「香川県家庭教育サポート企業協定制度」に基づき、従業員の家庭における望ましい生活習慣作りに向けた働きかけの一環として施設内広報誌を作成。

●ポスター・チラシ作成（求職者パンフレット作成）

- ・ホームページリニューアルのチラシを作成し関係機関に配布した。
- ・SNS に関してのポスターをリニューアルする。
- ・餅つきのボランティア募集に関するポスターを作成し学生に配布。

●ホームページ更新

- ・毎月 20 日、各部署より行事や地域貢献の資料を提供してもらい毎月更新を行った。
ホームページリニューアル後は各部署の SNS 投稿内容が自動で反映されるようになった。
- ・地域活動などの取り組みに関しても情報発信を行った。
- ・人材確保の一環としてホームページをリニューアルした。テストアップ施行し、12 月 11 日公開。
併せてパンフレットも新たに作成した。

●サンシャイン通信作成発行

- ・毎月 1 日に発行。各事業所の様子や、カフェの予定、クリーン作戦、SDG s の取り組み、レシピ等を掲載した。
- ・サンシャイン通信は毎月 1 日に紙面での発行と SNS で発信している。
- ・表紙や構成を変更し YouTube、SNS の QR コードを追加。地域へ向けての情報発信として公式ラインからの閲覧も可能とした。
- ・事業所内のみでなく、地域ネットワーク会議・各役場・各社協・小豆島中央高校・四国医療福祉専門学校に配布を行いサンシャインの取り組みを地域へ情報発信した。今年度は新たに、みなと診療所に設置して貰える事になった。
- ・4 月 1 日発行のサンシャイン通信に理事長のあいさつ文を掲載。
- ・おひさまだよりと統合し、毎月レシピを掲載。

●掲示板の活用

- ・サンシャイン通信、カフェや行事のポスターを掲示。

●ガイドライン発行

サンシャインの理念等を掲載し全職員に配布。各部署の朝礼や会議等で理念を復唱したり、内容の一部を掘り下げて話し合いをする等活用。定期的に活用できているか、活用方法などの検討が必要。新人職員に新たに配布。

●SNS (Twitter、Facebook、Instagram)

- ・公式ラインを活用してサンシャイン通信等を地域に発信する。
- ・職員、外部に向けて情報を発信。
- ・各部署の担当者が定期的に投稿している。フォロワー5,942 名と増加している。(令和年 4 月 30 日現在)
- ・各部署のタブレットを使用して部署ごとで取り組みについて投稿を行った。
- ・ストーリーズに関しては毎日投稿することを目標に各委員で取り組んだ。
ハイライト機能を使用し、1 年間の SDG s の取り組みを残しておく。
- ・投稿を継続する事で、法人内の活動や取り組みを利用者家族や地域の方に知ってもらうことができた。
- ・SDG s に関する SNS 投稿時に関連のある SDG s の番号のポスターを使用する。

クリーン作戦では毎月、集合写真撮影時に活用した。

- ・節電月間として部署ごとリレーで節電に関する投稿を行った。
- ・Twitter はサンちゃんアカウントで発信している。
- ・Instagram から求人につながった例がある為、今後もターゲットに向けた発信をしていく。
- ・Capcut アプリを活用してリール動画を投稿したり、ハッシュタグの統一化を図るなど閲覧回数の向上に繋がった。

●YouTube

- ・小豆島活性化と福祉に関する情報発信を主に行い、192 弾まで発信、登録者数は 1,280 名と増加している。（令和6年4月30日現在）

●プレスリリース発行

小豆島中央高校合同クリーン作戦プレスリリース、チラシ作成（Canva 活用）、名刺を新規作成し参加者全員に配布した。プレスリリースを行い、当日の内容はテレビで放送された。

●マスコットキャラクター サンちゃんの活用

- ・サンちゃんのパペットやぬいぐるみを手作りで作成し、PR のため SNS や写真撮影時に使用した。
- ・SNS 投稿時、各部署のお便りにサンちゃんを掲載し、マスコットの PR に繋がった。
- ・サンちゃんアカウントで Twitter 発信

●SDGs の取り組み

3「すべての人に健康と福祉を」

→サンシャイン通信に旬の野菜を使った料理紹介、簡単な体操などを掲載する。

8「働きがいも経済成長も」

→SNS で外部には発信できているが、法人内に向けてもっと発信していく（職員のモチベーションが上がるような内容、新人職員の励みになるような内容）。

14「海の豊かさを守ろう」

→サンシャイン会では、日頃から海岸を中心に地域の清掃活動に取り組んでいるが、一人でも多くの職員が海のゴミ問題に関心を持ち綺麗な海になっていくことを願えるようクリーン作戦の取り組み内容を継続して発信する。

2. 実施内容から見えてきた課題（問題点・改善点）と今後の展開

- ・SNS に関しては、Instagram は投稿 728 件、フォロワー 5,942 名と増加傾向にある。ストーリーは 1 日最低 1 本投稿することを目標にしており、継続して委員や各部署で協力して積極的に投稿を行う必要がある。今後は利用者家族、入所希望者、求職者等ターゲットを絞った投稿等も行っていく。
- ・YouTube に関しては登録者数 1280 名と大幅に増加している。人気の YouTube 投稿や SNS のハッシュタグ等を参考にしながら発信していく。
- ・ホームページは、リニューアルしたことでどのような反響や効果があったかデータ収集する必要がある。内容に関しては各部署の取り組みや地域活動内容など SNS 投稿内容が反映される為、利便性も高まった。
- ・掲示板を作成し、サンリゾート横に設置しており、歩行者や地域の方にむけてサンシャイン通信等を掲示しているが、より地域の方が楽しみになるようなアイデアを検討していく。
- ・コロナ禍で地域との交流や外出行事等が減少しているが、サンシャインの活動内容を地域に発信するため、SNS やサンシャイン通信以外に、テレビや新聞などのマスメディアに向けた情報提供として小豆島記者クラブにプレスリリースを行ったが、今後も取材してもらえるような案内文を作成する。
- ・行政機関への掲載は今年度はなかったが、今後も各広報誌、福祉だよりに掲載してもらえるよう引き続き依頼していく。
- ・広報委員会の活動も第 6 期を迎えるが、SNS などの情報発信、サンシャイン会の活動を地域や利用者家族にどう伝えるか、職員採用に繋がれるような取り組みなどが当面の課題となる。マスコットキャラの活用も引き続き行っていく。さらに、課題として SDGs に関する取り組みや、各委員会との連携した情報提供活動の拡張などが挙げられる。これらの課題と並んで、セキュリティの確保や個人情報の保護なども重要な課題といえる。広報委員会ではより効果的な広報活動が求められるため、各委員が情報収集や広報活動に関する知識を深めていく。

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
地域活動推進委員会

1. 実施内容

【地域公益の視点】

- ・地域ネットワーク会議に毎月参加し、他事業所との関係性の構築や情報収集に努めた。
- ・5月にサンシャインマルシェ、11月に秋の地域交流昼食会を開催した。
- ・出前講座や地域交流昼食会でアンケートを実施した。
- ・出前講座はサロンの世話人や地域包括支援センターからの依頼で5地区5会場で実施した。
- ・6月に小豆島中央高校合同クリーン作戦、10月に東蒲生地区の道普請に参加した。
- ・クリーン作戦には定期的に外部からも参加者があった。
- ・居場所づくりの一環としてロックガーデンやフォトスポットを制作した。また、利用者の協力を得てハーブの栽培と植え付けを行った。
- ・サンちゃんビーチで8月は香川大学の学生、10月は香川県ソーシャルワーカー協会がイベントを開催した。
- ・地域防災については、7月に小豆ブロックケアマネ協議会でBCPについて実践報告を行い、行政及び地域包括支援センターへ災害時の情報共有について問題提起した。

【顧客の視点】

- ・中東蒲生地区夏祭りにリベラル利用者と職員が参加した。
- ・出前講座や地域交流昼食の際、参加者にアンケート調査を実施した。
- ・出前講座、地域交流会、マルシェ、ボランティア活動時に情報交換を行った。

【業務プロセスの視点】

- ・学生が参加して実施したものはSNSやYouTubeを使って発信をすることができた。
- ・次年度に向けて、小豆島町と土庄町に出前講座リストを提出した。

【学習と成長の視点】

- ・委員会メンバー以外の参加は難しかったが会議録を回覧したりSNSで発信することで理解を深めることができた。

【SDGsについて】

- ・出前講座でアップサイクルした資料を使用したり、レシピや脳トレプリントを配布した。
- ・クリーン作戦で少量ではあるがペットボトルキャップ集めを継続している。
- ・毎月のクリーン作戦、地域の清掃活動に参加できた。

2. 実施内容から見えてきた課題（問題点・改善点）と今後の展開

- ・地域ネットワーク会議は行政関係者の少ない町もあるため参加して貰えるよう働きかける。また、展示会等の合同行事の開催に向けて話し合いを進めたい。
- ・出前講座は年6回の開催を目標に全事業所の職員が参加できるよう調整したい。
- ・地域の方から地域交流会などで自分たちの余興を見てもらいたいと意見があった。披露の場を設けて地域の方の居場所づくり、生きがいをづくりを行う。
- ・地域の夏祭りや清掃活動以外にも参加できるよう、事前に行事計画等の情報を収集する。また、地域防災について検討会や訓練を実施したい。
- ・進捗管理表が有効活用できるよう委員会メンバーに働きかける。
- ・毎月のクリーン作戦を継続し、法人から離れた場所での実施も検討する。

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
軽費老人ホームシーサイドサンシャイン

1. 達成目標（手法）に関する達成状況

【地域公益の視点】

(1) 多世代交流の機会の検討（年4回）

→新型コロナウイルスが5類へ移行後、規模は縮小したが、夏祭り、地域交流昼食会等行い、地域の方との交流を行うことができた。また、インターンシップ受け入れや、オンラインスポーツ大会など学生との交流機会を設けた。

(2) ご利用者に応じたサービスの検討や地域ニーズの調査

→利用者に応じたサービスの検討は随時実施できた。利用者の重度化が進んでいるため、介護保険のサービスでは対応が難しくなり、新たな方法の検討や家族への協力依頼を実施した。

(3) 香川おもいやりネットワーク事業の活用

→両町役場より自宅での生活に困っている方の相談に応じ、体験利用や入所に繋げる事ができた。

(4) 災害時対応に関する検討を実施

→風水害、地震災害に関するBCPを作成し、蓄電池等必要な備品を購入した。

クリーン作戦への参加（14）海の豊かさを守ろう

→毎月、クリーン作戦に職員が交代しながら参加できた。

【財務の視点】

(1) 事業計画と収支状況について比較、検討する

→事業計画の進捗状況について見直しを行い、経費削減に努めた。

(2) 体験利用居室の稼働率管理、分析結果の共有

→年間の退所者は21名だったが、入所に関する調整を行い、毎月の1日付けでの定員は100%維持できた。また、体験利用者21名のうち、16名の利用者が入所に繋がった。今後も入所希望者に体験利用を活用していただき、必要に応じて入所に繋げていく必要がある。

(3) 助成金についての情報収集を実施

→助成金についての情報収集を行い、コロナに関する助成など、必要時助成金の申請を実施した。

【顧客の視点】

(1) 地域と関わる機会を設定してニーズ調査を行う、家族アンケートの実施を検討する

→新型コロナウイルスが5類へ移行後、面会制限の緩和、外出、外泊も可能となった。今年度より家族に対するアンケート内容を一部変更し実施。内容を変更したことによって家族のリアルな声や評価を知ることができた。

→令和5年4月の時点での待機者は34名だったが、令和6年3月には28名と減少傾向にあるため、ケアマネジャー、地域、他機関との連携を強化していく必要がある。また、待機者の中には入所順がきても断られるケースもあるため、待機者を「待機者」と「即時入所待機者」に分類して管理していく。

(2) 個別支援計画に基づく支援の展開 (3) すべての人に健康と福祉を

→ケアグロースを活用し、利用者の強みを活かした個別支援について進めた。昔ながらの行事や季節に応じた行事を企画、利用者の強みを活かした個別支援、企画の実施を行った。家族、地域とのコミュニケーションが図れる場づくりを検討する。

→マルナカ、パン屋の移動販売を毎週実施できるように企画して買い物や人がつながることのできる場づくりを提供した。

→夏祭りで家族、地域との交流を実施した。

【業務プロセスの視点】

- (1) マニュアル内容（苦情対応を含む）の情報更新を実施する
→必要時にマニュアルの作成、見直しを行った。
- (2) 業務改善ツールの検討
→ケアグロースとGoogleアプリを活用し業務の可視化を実施。業務の可視化を習慣化できるように進めて周知して、定期的に進捗確認を行った。
- (3) 出前講座等、世代間交流、ワークショップ等地域向けイベントの検討
→出前講座に職員が参加することができた。京都産業大学の学生や東京農業大学の学生をインターンシップとして受け入れた。追手門学院大学とオンラインスポーツ大会を実施。高校生ボランティアの受け入れを行った。

【学習の視点】

- (1) 研修計画の策定、実施内容の見直し (8) 働きがいも経済成長も
(キャリアパス理解促進、目標設定、接遇力向上、人材育成、ケアグロース、SDGs)
→月1回施設内研修を行い、接遇や地域共生社会の実現に向けた個別支援計画等の勉強会を行った。
また、オンライン等の研修にも参加し、知識を深める事ができた。
- (2) 軽費老人ホームに合った地域活動の検討
→クラブ活動を随時見直して、利用者のニーズに合ったクラブ活動を実施した。
- (3) 委員会の参加促進の検討
→4つの各委員会に1名ずつ参加した。

2. 事業所総括

利用者50名中44名が介護保険該当者となっており、前年度82%から88%と介護保険該当者は増加した。前年度同様、年間を通して介護保険該当者が80%を超えている状況が続いており、利用者の重度化が顕著となり、状況が改善していく事は難しいと想定して、介護保険のサービスと施設でのサービスを併用し、施設生活が継続できるよう家族や関係機関との連携強化を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大により、県内の感染状況や施設での感染状況を踏まえ面会制限、外出制限を行う事もあったが、それにより利用者の意欲低下やストレスなどが見られた。10月～11月にかけて利用者10名の新型コロナウイルス感染が判明し、12月には利用者31名、職員2名のノロウイルス感染が判明した。保健所に随時報告と指導をして頂くことで、適切な感染防止対策を行う事で感染拡大防止に努めた。適切な感染防止対策ができるよう、職員一人ひとりが知識の習得に努めた。

新型コロナウイルスが2類から5類へ移行された事もあり、地域共生社会の実現に向けた取り組みを少しずつ再開することができた。次年度も個別支援計画を策定し、それに基づく自己実現を図る事により、軽費老人ホームでのQOLを向上して生きがいづくりに繋げる。また、社会福祉法人として、利用者の個性を活かした地域での役割を考え、関係性を強化に繋げたい。

3. 年間利用者数

令和5年度 シーサイド年間利用者数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600
入所	3	2	1	2	3	2	2	2	1	0	3	0	21
退所	2	1	2	3	2	2	2	1	0	3	0	2	20

令和5年度 シーサイド年間体験利用延べ人数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体験	3	3	3	3	3	3	1	1	0	2	2	2	26

体験利用実人数 21名

令和5年度 シーサイド年間利用者数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600
入所	3	2	1	2	3	2	2	2	1	0	3	0	21
退所	2	1	2	3	2	2	2	1	0	3	0	2	20

令和5年度 シーサイド年間体験利用延べ人数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体験	3	3	3	3	3	3	1	1	0	2	2	2	26

体験利用実人数 21名

4. 利用者統計

別紙のとおり

5. 利用者稼働率

なし

6. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

居室バリアフリー化工事4件

エアコン取替工事8台

居室流し台交換1台

洗濯機購入1台

利用者名簿統計表(シーサイドサンシャイン)

令和6年3月31日現在

入所前住所	男性	女性	計
土庄町	8	9	17
小豆島町	9	23	32
高松市	1	0	1
さぬき市	0	0	0
合計	18	32	50

年齢別	男性	女性	計
65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	1	0	1
70歳以上75歳未満	2	1	3
75歳以上80歳未満	1	1	2
80歳以上85歳未満	3	3	6
85歳以上90歳未満	5	15	20
90歳以上95歳未満	4	11	15
95歳以上	1	2	3
合計	17	33	50

最高(若)・平均年齢	男性	女性	計
最高年齢	96	96	-
最若年齢	67	72	-
平均年齢	83	89	86.0

入所期間	男性	女性	計
半年未満	2	6	8
半年以上1年未満	4	6	10
1年以上1年半未満	1	4	5
1年半以上2年未満	1	4	5
2年以上2年半未満	2	1	3
2年半以上3年未満	1	1	2
3年以上3年半未満	0	0	0
3年半以上4年未満	0	1	1
4年以上4年半未満	0	2	2
4年半以上	6	8	14
合計	17	33	50
平均在所期間	4年1ヵ月	5年0ヵ月	4年8ヵ月

要介護度	男性	女性	計
自立	2	4	6
要支援1	4	0	4
要支援2	2	8	10
要介護1	6	15	21
要介護2	0	3	3
要介護3	1	3	4
要介護4	2	0	2
合計	17	33	50

令和5年度年間行事等実施報告

軽費老人ホームシーサイドサンシャイン

項目 月	行 事			職員研修・職員会議等			災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他		
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	
7月	3日	にこにこカフェ	20日	誕生会			3日	サービス会議・施設内研修	24日	避難訓練			
	5日	塗り絵クラブ	13日	せいけんじこども園			10日	経営会議・課長主任会議			3日	みなと診療所往診(毎火曜)	
	6日	お楽しみ会		筋トレクラブ(月3回)				夏祭り実行委員会				体重測定	
	7日	絵手紙クラブ		音読(日曜)			12日	地域ネットワーク会議				採血	
	12日	音楽クラブ		YouTube鑑賞会(月2回)			13日	経営品質向上委員会			20日	安全点検、建物点検	
	14日	健康クラブ					18日	広報委員会				冷蔵庫点検	
		買い物会(マルナカ)					19日	BCP策定会議			19日	衛生委員会	
	18日	グリーンクラブ					20日	ケア会議			24日	浴室大掃除	
	19日	筆ペンクラブ						研修委員会					
	26日	書道クラブ						優先入所検討委員会					
	28日	お楽しみ会					21日	地域活動推進委員会					
	30日	カラオケクラブ					24日	職員会議					
	31日	カレンダー作り											
8月	2日	にこにこカフェ	21日	誕生会	4日	創立祭	1日	サービス会議・施設内研修	23日	避難訓練	1日	体重測定	
	7日	筆ペンクラブ	24日	せいけんじこども園		創立記念夏祭り	9日	地域ネットワーク会議			14日	採血	
	9日	音楽クラブ		筋トレクラブ(月3回)			10日	経営会議・課長主任会議			14日	コロナ頻回検査	
	11日	健康クラブ		音読(日曜)			14日	広報委員会			19日	コロナ頻回検査	
	12日	筋トレクラブ		YouTube鑑賞会(月2回)			17日	経営品質向上委員会			21日	安全点検、建物点検	
	16日	買い物会(マルヨシ)					18日	研修委員会				冷蔵庫点検	
	18日	書道クラブ					21日	ケア会議			23日	浴室大掃除	
	20日	カラオケクラブ						施設内研修(高齢者転倒について)			25日	職員健康診断	
	26日	絵手紙クラブ					22日	BCP策定指導				コロナ頻回検査	
	28日	お楽しみ会						地域活動推進委員会				職員健康診断	
	29日	塗り絵クラブ					23日	職員会議				みなと診療所往診(毎火曜)	
	30日	カレンダー作り					26日	バリデーション研修(三木)					
	9月	4日	にこにこカフェ	19日	誕生会	12日	敬老会	1日	サービス会議・施設内研修	25日	避難訓練	19日	安全・冷蔵庫・建物点検
7日		塗り絵クラブ	28日	お楽しみ会	14日	相撲甚句訪問	8日	経営会議・課長主任会議		防災に関する講演会	26日	コロナワクチン予防接種	
8日		健康クラブ		筋トレクラブ(月3回)			11日	全軽協四国ブロック研修(藤本)				みなと診療所往診(毎火曜)	
11日		グリーンクラブ		音読(日曜)			12日	研修委員会					
13日		音楽クラブ		YouTube鑑賞会(月2回)			13日	経営品質向上委員会					
18日		筆ペンクラブ						地域ネットワーク会議					
21日		買い物会(マルナカ)					14日	広報委員会					
23日		絵手紙クラブ					19日	ケア会議					
24日		カラオケクラブ						地域活動推進委員会					
27日		カレンダー作り					25日	職員会議					
30日		書道クラブ					27日	衛生委員会					
												1日	おもてなしカフェ
												2日	ボランティア活動
											3日	緋田理容	
											8日	クリーン作戦	
											15日	小豆島中学職場体験	
												心配事相談	
											19日	月例祭	
												ワックス掛け(香川美装)	
											29日	小豆島町介護予防事業	

令和5年度 出張・研修報告

軽費施設長

期間	研修用件	期間	研修用件	期間	研修用件
4月	21日 次世代リーダー経営品質向上活動勉強会	8月	16日 奈良県青年会セミナー講師	2月	3-4日 福祉施設長スクーリング
	28日 香川県経営青年会監事会		17日 人材確保セミナー		7日 高松東高探求講師（成果発表会）
5月	5日 うみちかふらっと会議		18日 香川県経営青年会理事会		14日 中国・四国ブロック災害支援セミナー
	10日 香川県経営協総会・研修会		21日 両町社協事務局長著打ち合わせ		16日 全軽協四国ブロック合同研修
	12日 老施協理事会		23日 老施協理事会（WEB）		21日 小豆島町社協広報委員会
	15日 香川県経営青年会理事会・総会		24日 経営協セミナー	29日 組織人材マネジメント委員会セミナー	
	16日 香川県福祉懇談会		25日 次世代リーダー経営品質向上活動勉強会	2日 香川県ソーシャルワーカー協会研究大会	
	19日 島高しまのみらいプロジェクト説明会		29-30日 四国老人福祉施設関係者研究大会（高知）	5日 小豆島町社協広報委員会	
6月	24日 高松東高探求授業講師	9月	17-18日 福祉施設長スクーリング	3月	7日 福祉のしごとサポートフェア
	31日 香川DWAT情報共有会議		20日 高松東高探求講師		11日 小豆島町社協理事会
	8日 小豆島中央高校企業説明会		21-22日 経営協全国大会（神戸）		12日 老施協JS次世代委員会出前授業香川農経高校
	12日 経営デザイン紹介セミナー	10月	26-27日 経営青年会全国大会 広島		12日 都道府県セミナー（後期）
	13日 小豆島町社協理事会		31日 JS次世代委員会（オンライン）		14日 老施協JS次世代委員会出前授業香川農経高校
	14日 高松東高探求授業講師	11月	7日 老施協介護部会研修会		14日 経営青年会総会・セミナー
	16日 令和4年度共通職員意識調査・利用者満足度調査フィードバックと意見交換報告会		14日 全軽協職員研究会議		
	21日 次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		15日 経営青年会総会（オンライン）		
	22日 全軽協総会（オンライン）		23日 かがわJOBフェスタオンライン2023		
	29日 香川おもいやりネットワーク事業運営委員会		29日 高松東高探求講師		
7月	24日 香川県ソーシャルワーカー協会総会	12月	4日 経営協セミナー		
	25日 手をつなぐ育成会総会		5日 老施協理事会（オンライン）		
	27日 小豆圏域ネットワーク会議（実務者会）		15日 産学協働教育推進フォーラム（オンライン）		
	29日 小豆島町社協理事会		21日 老施協研究大会		
	8月		12日 社会福祉×クリエイティブセミナー講師	22日 次世代リーダー経営品質向上活動勉強会	
			2日 安全運転管理者講習（オンライン）	27日 香川DWAT活動訓練	
8月	3日 小豆島町社協広報委員会	1月	16日 香川DWATチーム員研修I		
	4日 福祉のお仕事サポートフェア		17-18日 ビジネスDXフェア（FUJIFILM）		
	7日 JS次世代委員会（老施協）		17日 介護労働懇談会		
	9日 小豆島町社協広報委員会		22日 法人経営・事業展開検討委員会セミナー		
			31日 小豆島観光ビジョンセレモニー		

藤本康邦（生活相談員）

三木淳史（生活支援職員）

期間	研修用件	期間	研修用件
5月	23日 全軽協四国ブロックセミナー（web）	6月	8日 小豆島中央高校企業説明会
6月	24日 香川県ソーシャルワーカー協会総会	8月	26日 パリテーション研修
9月	18日 全軽協四国ブロック合同研修	2月	16日 全軽協四国ブロック合同研修
10月	3日 全軽協生活支援基礎研修		
1月	16日 香川DWATチーム員研修		
3月	2日 香川県ソーシャルワーカー協会研究大会		

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
特別養護老人ホームリベラルサンシャイン本館

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→実習生、職場体験、インターンシップの受け入れを随時行った。地域活動推進委員会から依頼があり、積極的に地域のサロン活動にも参加し、地域からの要望に沿ったレクリエーションや介護相談、介護技術の説明を行った。
- (2) 地域公益活動、交流行事の参加
→月1回のクリーン作戦、年1回の小豆島中央高校合同クリーン作戦、蒲生地区道普請に職員が参加。月1回のクリーン作戦に関しては、参加する職員が限定されていたため、令和6年度は多くの職員が参加できるように調整していく。地域交流会の開催や蒲生地区夏祭りには地元の利用者の方も参加し、地域の方と交流を図る事が出来た。緊急ショートステイの受け入れに関しては、ケアマネジャーや家族から相談があった際に可能な限り受け入れを行った。
また、SDGsの取り組みとしてペットボトルのキャップを集め、池田小学校へ持参した。

【財務の視点】

- (1) 稼働率管理
→令和5年度の退所者23名、入所者22名。(優先入所該当者7名)年間稼働率97.4%。退所者のうち18名は看取り対応を行った。短期入所サービスの年間稼働率は91.7%。新型コロナウイルスの感染拡大により受け入れ制限を行ったことが年間稼働率低下に影響している。
→地域から選ばれる施設になるよう、SNS等で日々の様子、施設行事を積極的に発信した。
- (2) 加算取得内容、助成金、交付金についての検討を行う
→1月に新型コロナウイルス感染症に入所者23名が感染したが全員軽症であり23日間施設内療養にて対応。助成金の申請を行った。
- (3) 老朽化による設備や備品の修繕、経費削減と設備投資をすべき内容について検討する。
→備品の老朽化により、エアマット・車いすの買い替えを行った。また電気代削減の為、経営品質向上委員会メンバーが中心となりポスターでの節電の啓発活動や職員間で呼びかけを行った。
→特殊浴槽トウティイが経年劣化している為、競輪とオートレースの補助事業にて交付要望書を申請したが対象外となった。
- (4) 業務の効率化
→各ユニットにタブレットを2台導入し、手書きからPC入力に変更。
→各様式の見直し、変更を行い、転記作業を減らすことが出来た。

【顧客の視点】

- (1) 感染症対策の徹底
→基本的な感染症対策は実施していたが、1月に新型コロナウイルス感染症に入所者23名が感染。感染者全員が施設内療養を行った。今後も感染症対策をしっかりと行い、感染者が発生しても適切な対応が出来るよう訓練も継続して実施していく。
- (2) 認知症についての理解と専門性の向上
→認知症介護基礎研修1名受講。認知症についての研修を開催。
- (3) 利用者の能力維持、安全で快適な生活の支援を提供
→機能訓練指導員が中心となり、3ヵ月毎に利用者の状態に応じて個別機能訓練計画書の見直しを行い、

多職種と連携し個々のニーズに沿った機能訓練を実施した。関節可動域訓練による拘縮予防や生活リハビリ、福祉用具の選定、また、ポジショニングを検討・実施することで安楽な姿勢の保持、褥瘡予防に努めた。また、利用者・職員双方の負担軽減を図る為、ノーリフティングケアに取り組んだ。

(4) 家族との関係性の構築

- 毎月開催している誕生会にご家族に参加いただいた。
- 毎月広報誌の発行、年1回家族にアンケートを実施した。
- ご家族の意向に沿ったサービスの提供（個別外出支援等）

【業務プロセスの視点】

(1) ICTを活用し業務の効率化と介護負担の軽減

→介護記録の内、電子化に変更可能な書類を見直し、食事摂取量の記載をタブレットから行えるよう調整した。各ユニットにタブレット、ノートパソコンを追加購入する事で業務の省力化とペーパーレス化に繋がっている。またラインワークスを活用し、職員間の情報共有・伝達がスムーズに行えている。

(2) 非常災害時対応の強化を図る

- 避難経路が土砂災害危険区域に該当する為、山側一角の土留め工事。
- 風水害・地震想定BCPの策定、火災想定（年2回）、地震想定（年1回）の避難訓練の実施、ポータブル蓄電池の購入。

【学習の視点】

(1) ケアプランに基づく支援。利用者、家族の意向、特性を踏まえ多様化した支援の実施

→アセスメントを丁寧に行い、利用者、家族の意向に沿ったサービスを提供した。

(2) 研修体制の充実、事業所内研修の実施（毎月）、法人研修（年2回）、外部研修の参加（随時）

→研修時間の見直しを行い、多くの職員が研修に参加できる体制を確保し、資質向上に努めた。

(3) 専門性の向上、資格取得に向けた学習の支援（通年）

→ユニットリーダー研修1名、認知症介護基礎研修1名受講。

(4) サークル活動、福利厚生の実施（通年）

→運動サークルの立ち上げ、オンラインでの新人歓迎会、新年会の開催、健康診断の実施。

2. 事業活動総括

令和5年度の入退所者数は55名。同月に3名の利用者が退所することもあったが、適切に優先入所検討委員会を開催し、円滑に入所調整を行うことが出来た。施設での看取りケアを希望する方も多く、退所者23名のうち18名は施設で看取りケアを行った。

1月に新型コロナウイルス感染症クラスターが発生し利用者23名、職員13名が感染。全員軽症であり、施設内療養を行った。今後も定期的に訓練を実施し、感染者が発生しても適切な対応が出来るようにする。利用者、職員の意向に沿ったサービスを提供し、希望があれば自宅外出支援も行った。

各ユニットにタブレット、ノートPCを導入しICTの活用による業務の効率化に努めた。

非常災害に備え、地震・風水害のBCPの策定、リベラル山側一角の土止め工事を行った。

短期入所生活介護では、ケアマネジャーとの連携を図り、28名の新規利用者を獲得する事ができた。年間稼働率に関しては、今年度は91.7%と前年度の89.1%に比べると上昇したものの、1月の新型コロナウイルス感染症クラスターにより、ショートステイの利用を制限した事で1月の稼働率が75.5%と他の月に比べると大きく減少する結果となった。感染症の蔓延によるショートステイ利用休止等で稼働率が大きく影響されるため、次年度も感染症に留意し、早期対応、適切な対策を講じる事で蔓延防止に努めていく必要がある。

3. 年間利用者数

本館入所者

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期	1,453	1,520	1,417	1,470	1,537	1,475	1,536	1,490	1,520	1,470	1,419	1,525	17,832
入所者数	2	1	4	1	1	2	3	2	1	3	2	0	22
退所者数	2	3	3	0	2	2	2	2	3	1	2	1	23
(内訳)	死亡22名 (看取り18名)			法人内施設 0名			入院 1名			他施設・家族引取り 0名			

待機者 優先入所1名 通常待機154名(令和6年4月1日現在)

優先入所検討委員会(別館共通)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数			1	1	1	1		1			1	1	7
検討件数			1	1	1	2		1			1	1	8
該当者			0	1	1	2		1			1	1	7

短期入所生活介護(別館共通)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	295	272	294	335	246	250	266	267	248	231	261	284	3,249
障害福祉	9	9	8	10	9	9	10	8	12	3	8	12	107

4. 利用者統計

別紙のとおり

5. 利用者稼働率

別紙のとおり

6. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

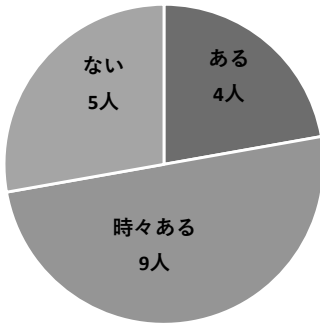
別紙のとおり

7. その他(建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等)

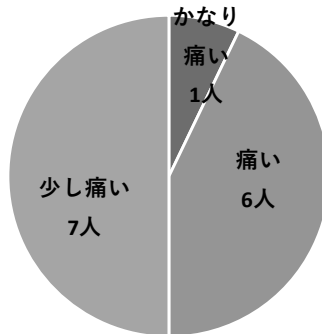
- ノートPC 1台購入
- タブレット 2台購入
- 医務室エアコン設置
- C棟個室エアコン 3台設置
- シャワーチェア 1台購入
- 自走式車いす(跳ね上げ型) 1台購入
- ティルト型車いす 1台購入
- リクライニング車いす 1台購入
- エアマット 1台購入
- 山側一角土止め工事

ノーリフティングケア 職員アンケート（リベラルサンシャイン）R5.10月

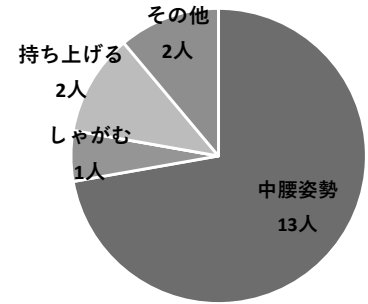
現在、腰痛はあるか



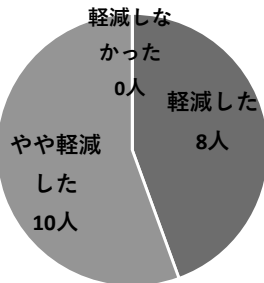
腰痛の程度は



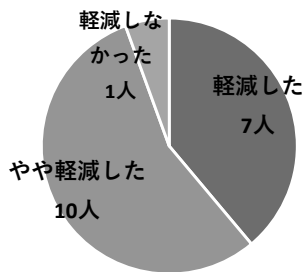
どのような時に痛むか



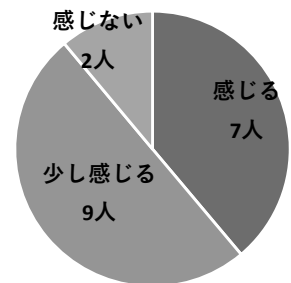
電動ベッドを活用することで身体的負担は軽減したと思うか



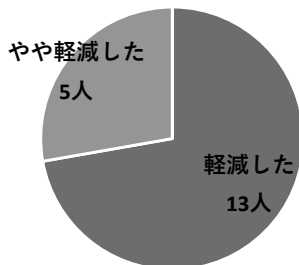
対象者にスライディングボード・シートを使用したことで、使用前の介助と比べて身体的負担は軽減したと思うか



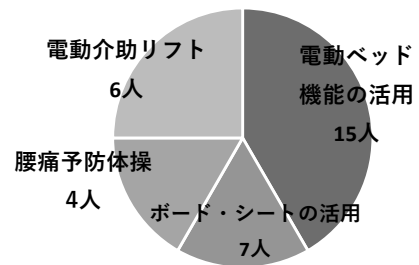
腰痛予防体操を実施したことで効果を感じるか



電動介助リフトを使用したことで、使用前の介助と比べて身体的負担は軽減したと思うか



現在行っている腰痛予防対策で一番効果を感じる内容は



<まとめ>

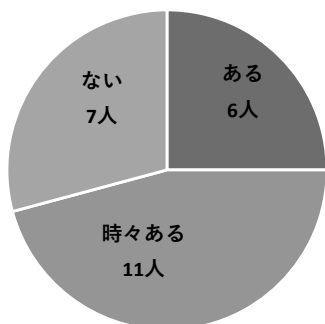
半年前のアンケートと比較し、腰痛者の人数や状態に関しては目立った変化がなかった。前回から変化した点として、電動介助リフトの使用があげられる。体重の重い利用者に対して電動介助リフトを使用したことで、身体的負担の軽減を感じている職員が多いという結果が出た。

<2023年度下半期の目標>

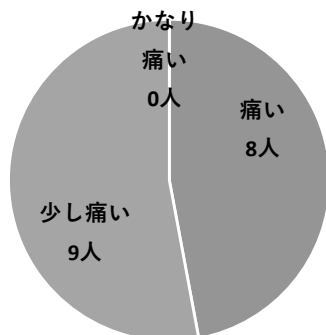
継続して介助方法や福祉用具の検討・見直し、腰痛予防体操を行い、腰痛者の増加を防ぐ。

ノーリフティングケア 職員アンケート（リベラルサンシャイン）R6.4月

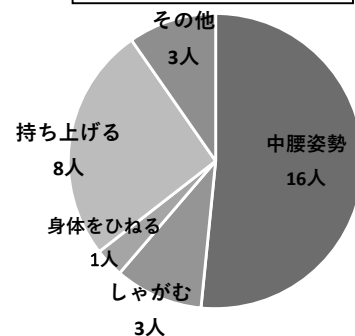
現在、腰痛はあるか



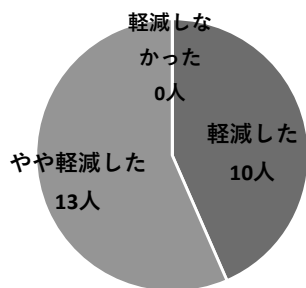
腰痛の程度は



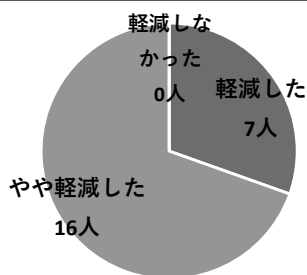
どのような時に痛むか



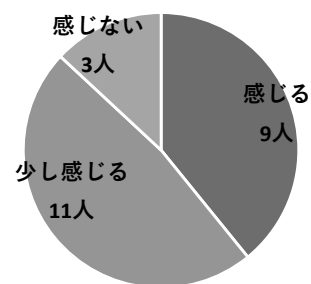
電動ベッドを活用することで身体的負担は軽減したと思うか



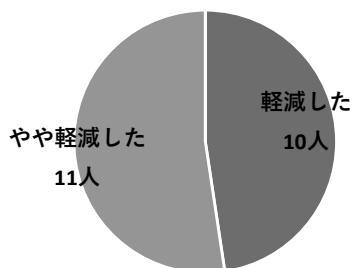
対象者にスライディングボード・シートを使用したことで、使用前の介助と比べて身体的負担は軽減したと思うか



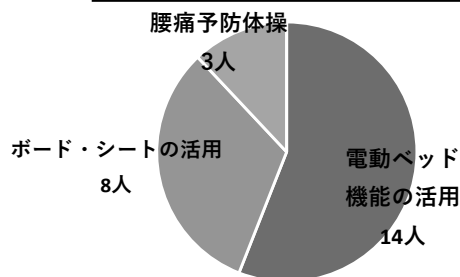
腰痛予防体操を実施したことで効果を感じるか



電動介助リフトを使用したことで、使用前の介助と比べて身体的負担は軽減したと思うか



現在行っている腰痛予防対策で一番効果を感じる内容は



<まとめ>

半年前のアンケートと比較し、アンケートの回答数に変化があるが、腰痛の有無の割合に目立った変化はなかった。腰痛の程度に関しても目立った変化はないが、「かなり痛い」は0人となっている（半年前は1人）。どのような時に痛むかに関しては、「中腰姿勢」「持ち上げる時」の回答数が多かった。今後も電動ベッド機能の活用と、体重が重い利用者の移乗介助は移乗補助具の活用、物を持ち上げる時の姿勢にも配慮していく必要がある。

<2024年度上半期の目標>

継続して介助方法や福祉用具の検討・見直し、腰痛予防体操を行い、腰痛者の増加を防ぐ。

利用者名簿統計表(リベラル本館)

令和6年3月31日

入所前住所	男 性	女 性	計
土庄町	3	19	22
小豆島町	10	18	28
島 外	0	0	0
合 計	13	37	50

年齢別	男 性	女 性	計
65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	1	2	3
75歳以上80歳未満	5	3	8
80歳以上85歳未満	2	1	3
85歳以上90歳未満	0	5	5
90歳以上95歳未満	4	12	16
95歳以上	1	14	15
合 計	13	37	50

最高(若)・平均年齢	男 性	女 性	計
最高年齢	95	107	
最若年齢	72	73	
平均年齢	83	91	87.3

入所期間	男 性	女 性	計
半年未満	6	3	9
半年以上1年未満	3	7	10
1年以上1年半未満	0	4	4
1年半以上2年未満	0	4	4
2年以上2年半未満	0	1	1
2年半以上3年未満	1	2	3
3年以上3年半未満	1	1	2
3年半以上4年未満	0	0	0
4年以上4年半未満	0	3	3
4年半以上	2	12	14
合 計	13	37	50
平均在所期間			3年2か月

要介護度	男 性	女 性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	0	0
要介護3	6	18	24
要介護4	5	12	17
要介護5	2	7	9
合 計			
要介護度平均			3.9

令和5年度 リベラルサンシャイン本館 稼働率

		長期			
月	日数 (日)	ベッド数 (床)	延外泊日数 (人)	延利用者数 (人)	長期 稼働率
4	30	1,500	47	1,453	96.9%
5	31	1,550	30	1,520	98.1%
6	30	1,500	83	1,417	94.5%
7	31	1,550	80	1,470	94.8%
8	31	1,550	13	1,537	99.2%
9	30	1,500	25	1,475	98.3%
10	31	1,550	14	1,536	99.1%
11	30	1,500	10	1,490	99.3%
12	31	1,550	30	1,520	98.1%
1	31	1,550	80	1,470	94.8%
2	29	1,450	31	1,419	97.9%
3	31	1,550	25	1,525	98.4%
合計	366	18,300	468	17,832	97.4%

短期(ショート)			
ベッド数 (床)	空室日数 (人)	延利用者数 (人)	短期 稼働率
300	-4	304	101.3%
310	29	281	90.6%
300	-2	302	100.7%
310	-35	345	111.3%
310	55	255	82.3%
300	41	259	86.3%
310	34	276	89.0%
300	25	275	91.7%
310	50	260	83.9%
310	76	234	75.5%
290	21	269	92.8%
310	14	296	95.5%
3,660	304	3,356	91.7%

全体		本館 全ベッド			
月	日数 (日)	ベッド数 (床)	延外泊日数 (人)	延利用者数 (人)	全体稼働率
4	30	1,800	43	1,757	97.6%
5	31	1,860	59	1,801	96.8%
6	30	1,800	81	1,719	95.5%
7	31	1,860	45	1,815	97.6%
8	31	1,860	68	1,792	96.3%
9	30	1,800	66	1,734	96.3%
10	31	1,860	48	1,812	97.4%
11	30	1,800	35	1,765	98.1%
12	31	1,860	80	1,780	95.7%
1	31	1,860	156	1,704	91.6%
2	29	1,740	52	1,688	97.0%
3	31	1,860	39	1,821	97.9%
合計	366	21,960	772	21,188	96.4%

令和5年度年間行事等実施報告

リベラル本館

月	行事		職員研修・職員会議等		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他			
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容		
12月	4	にこにこカフェ	1	優先入所検討委員会	13	研修委員会	5	避難訓練		27	夜勤者健康診断	25	法人評議員会	
	10	ケーキ作り	4	排泄委員会	14	勉強会「腰痛について」	28	軽費避難訓練				金	小豆島町介護予防事業	
	15	クリーン作戦	5	虐待防止検討委員会		広報委員会								
	19	誕生会	8	経営会議	18	地域活動推進委員会								
	21	月例祭		課長主任会議	19	事故防止検討委員会								
	25	緋田理容来所	10	行事企画運営委員会		ユニット会議								
1月			11	リーダー会議	22	研修委員会								
				身体拘束廃止委員会	27	衛生委員会								
			12	経営品質向上委員会	28	職員会議								
				褥瘡防止検討委員会・ノーリフティング委員会										
				感染症対策委員会	16	身体拘束廃止委員会	29	軽費避難訓練		24	夜勤者健康診断	金	小豆島町介護予防事業	
			1	行事企画運営委員会		事故防止検討委員会								
			2	褥瘡防止検討委員会・ノーリフティング委員会	17	広報委員会								
			3	排泄委員会	18	研修委員会								
			4	経営会議	22	ユニット会議								
			9	課長主任会議	24	衛生委員会								
			12	勉強会「身体拘束や虐待に関する知識・意識の確認」	29	職員会議								
	2月			12	リーダー会議									
			13	感染症対策委員会										
			15	経営品質向上委員会										
				地域活動推進委員会										
			1	優先入所検討委員会	13	地域活動推進委員会	6	BCPオンライン指導	9	胸部レントゲン	金	小豆島町介護予防事業		
			2	行事企画運営委員会	14	勉強会「看取りケアについて」	26	避難訓練	21	健康診断				
			3	行事企画運営委員会	15	経営品質向上委員会				定期回診				
			5	排泄委員会	16	身体拘束廃止委員会				(毎週火曜日)				
			6	社会福祉連携協働セミナー(山下の)	19	広報委員会								
				褥瘡防止検討委員会・ノーリフティング委員会	20	事故防止検討委員会								
3月			8	リーダー会議	20	ユニット会議								
			9	経営会議	21	衛生委員会								
				課長主任会議	22	研修委員会								
			26	緋田理容来所	26	職員会議								
			27	インターンシップ	10	介護施設等における看取り研修会(中岡)	15	地域活動推進委員会	5	避難訓練	27	夜勤者健康診断	13	法人理事会
					2	行事企画運営委員会	18	広報委員会	28	軽費避難訓練		定期回診	25	法人評議員会
			7	せいけんじこどもえん来所		身体拘束廃止委員会						(毎週火曜日)	金	小豆島町介護予防事業
			18	クリーン作戦	5	リーダー会議								
			19	誕生会		褥瘡防止検討委員会・ノーリフティング委員会	19	経営品質向上委員会						
			21	月例祭	6	経営会議		ユニット会議						
		25	緋田理容来所		課長主任会議	21	ノーリフティングケアマネジメントセミナー(大石)							
				7	排泄委員会		優先入所検討委員会							
				8	虐待防止検討委員会	22	研修委員会							
				10	感染症対策委員会	26	老施協総会(山下枝)							
				12	香川県社会福祉法人経営者協議会(山下枝)	27	衛生委員会							
				14	勉強会「ヒヤリハットの原因分析トレーニング」		集団指導(山下枝)							
					令和5年度第3回総会及び研修会(大石)	28	職員会議							

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
特別養護老人ホームリベラルサンシャイン別館

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→実習生、職場体験、インターンシップの受け入れを随時行った。
- (2) 地域公益活動、交流行事の参加
→月1回のクリーン作戦、年1回の小豆島中央高校合同クリーン作戦、蒲生地区道普請に職員が参加。
月1回のクリーン作戦に関しては、参加する職員が限定されていたため、令和6年度は多くの職員が参加できるように調整していく。地域交流会の開催や蒲生地区夏祭りには地元の利用者の方も参加し、地域の方と交流を図る事が出来た。また、SDGsの取り組みとしてペットボトルのキャップを集め、池田小学校へ持参した。
- (3) 地域・各関係機関との関係性の構築
→2か月に1回、家族や地域の代表の方々に運営推進会議を開催し、事業の報告を行っている。
第三者からの視点を得て今後の活動に繋げていく。

【財務の視点】

- (1) 稼働率管理
→令和5年度の入所者は7名。年間稼働率97.5% 空床利用を含めると98.2%。随時、入所希望の方の施設見学や利用料金の説明等を行っている。
→地域から選ばれる施設になるよう、SNS等で日々の様子、施設行事を積極的に発信した。
- (2) 老朽化による設備や備品の修繕、経費削減と設備投資をすべき内容について検討する。
→備品の老朽化により、電化製品買い替えを行った。また電気代削減の為、経営品質向上委員会メンバーが中心となりポスターでの節電の啓発活動や職員間での呼びかけを行った。
- (3) 業務の効率化
→ノートパソコン、PHS、携帯電話の買い替えを行った。処理能力が高くなったことや、ナースコール対応時ケアステーションまで戻る手間が省けた事で、より円滑に業務に取り組んでいる。

【顧客の視点】

- (1) 感染症対策の徹底
→今後も感染症対策をしっかりと行い、感染者が発生しても適切な対応が出来るよう訓練も継続して実施していく。
- (2) 認知症についての理解と専門性の向上
→年1回、認知症についての勉強会を実施している。
- (3) 利用者の能力維持、安全で快適な生活の支援を提供
→機能訓練指導員が中心となり、3ヵ月毎に利用者の状態に応じて個別機能訓練計画書の見直しを行い、多職種と連携し個々のニーズに沿った機能訓練を実施した。関節可動域訓練による拘縮予防や生活リハビリ、福祉用具の選定、また、ポジショニングを検討・実施することで安楽な姿勢の保持、褥瘡予防に努めた。また、利用者・職員双方の負担軽減を図る為、ノーリフティングケアに取り組んだ。
- (4) 家族との関係性の構築
→毎月広報誌の発行、年1回家族にアンケートを実施した。
→ご家族の意向に沿ったサービスの提供（個別外出支援等）
→日常の様子や行事等を撮影し家族に送っている。遠方のご家族にも喜んで貰っている。

【業務プロセスの視点】

- (1) ICT を活用し業務の効率化と介護負担の軽減
→介護記録のうち、電子化に変更可能な書類を見直し、ペーパーレス化にも繋げている。
- (2) 非常災害時対応の強化を図る
→風水害・地震想定BCPを策定。火災想定（年2回）、地震想定（年1回）の避難訓練を実施。
→ポータブル蓄電池と、備蓄食を購入。使用方法や、保管場所の周知を行った。

【学習の視点】

- (1) ケアプランに基づく支援。利用者、家族の意向、特性を踏まえ多様化した支援の実施
→アセスメントを丁寧に行い、利用者、家族の意向に沿ったサービスを提供した。
- (2) 研修体制の充実、事業所内研修の実施（毎月）、法人研修（年2回）、外部研修の参加（随時）
→研修時間の見直しを行い、多くの職員が研修に参加できる体制を確保し、資質向上に努めた。
- (3) サークル活動、福利厚生の実施（通年）
→運動サークルの立ち上げ、オンラインでの新人歓迎会、新年会の開催、健康診断の実施。

2. 事業活動総括

令和5年度の入退所者数は14名。退所された7名のうち、2名の方は施設での看取りケアを実施。1名は24時間の医療行為が必要になり入院の継続、1名は金銭的な負担軽減の為本館に移動。

短期入所生活介護に関しては、年間181の空床ベッドに対し47床の利用（稼働率 約26%）。利用率向上の為、居宅支援事業所への情報提供も行ってきたが、空床ベッドにより利用可能な期間が確定していない事や多床室に比べて利用料が高い事などが利用を難しくしている。

ノートパソコンの買い替えを行った事で、記録の入力がスムーズに行うことが出来、業務の効率化に繋がっている。令和5年度も利用者を楽しんでいただけるようハロウィンでの仮装や、秋の運動会等、数多く季節行事を企画。今後も利用者と一緒に行事企画を行い施設生活に楽しみを持てるように支援していく。

3. 年間利用者数

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期	584	590	586	610	611	595	620	576	596	592	580	599	7,139
入所者数	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	7
退所者数	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	7
(内訳)	死亡4名 (看取り2名)			法人内施設1名			入院継続1名			他施設・家族引き取り1名			

待機者 優先待機0名 通常待機64名(令和6年4月1日現在)

優先入所検討委員会（本館共通）

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数			1	1	1	1		1			1	1	7
検討件数			1	1	1	2		1			1	1	8
該当者			0	1	1	2		1			1	1	7

短期入所生活介護（本館共通）

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	295	272	294	335	246	250	266	267	248	231	261	284	3,249
障害福祉	9	9	8	10	9	9	10	8	12	3	8	12	107

4. 利用者統計

別紙のとおり

5. 利用者稼働率

別紙のとおり

6. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

ノート PC 1 台購入

PHS 1 台購入

自操型車いす 1 台購入

洗濯機 1 台購入

携帯電話 1 台機種変更

利用者名簿統計表(リベラル別館)

令和6年3月31日現在

入所前住所	男性	女性	計
土庄町	0	0	0
小豆島町	1	19	20
島外	0	0	0
合計	1	19	20

年齢別	男性	女性	計
65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	0	1	1
75歳以上80歳未満	0	1	1
80歳以上85歳未満	0	1	1
85歳以上90歳未満	1	4	5
90歳以上95歳未満	0	2	2
95歳以上	0	10	10
合計	1	19	20

最高(若)・平均年齢	男性	女性	計
最高年齢	85	100	—
最若年齢	85	72	—
平均年齢	85.0	90.8	90.5

入所期間	男性	女性	計
半年未満	0	1	1
半年以上1年未満	0	4	4
1年以上1年半未満	0	0	0
1年半以上2年未満	0	4	4
2年以上2年半未満	0	2	2
2年半以上3年未満	0	2	2
3年以上3年半未満	1	1	2
3年半以上4年未満	0	0	0
4年以上4年半未満	0	2	2
4年半以上	0	3	3
合計	1	19	20
平均在所期間(ヶ月)			2年7ヶ月

要介護度	男性	女性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	0	0
要介護3	0	10	10
要介護4	1	7	8
要介護5	0	2	2
合計	1	19	20
要介護度平均			3.60

令和5年度 リベラルサンシャイン別館 稼働率

かぜユニット					
月	日数 (日)	ベッド数 (床)	延外泊日数 (人)	延利用者数 (人)	かぜ 稼働率
4	30	300	16	284	94.7%
5	31	310	18	292	94.2%
6	30	300	13	287	95.7%
7	31	310	0	310	100.0%
8	31	310	9	301	97.1%
9	30	300	5	295	98.3%
10	31	310	0	310	100.0%
11	30	300	0	300	100.0%
12	31	310	7	306	98.7%
1	31	310	28	282	91.0%
2	29	290	0	290	100.0%
3	31	310	21	289	93.2%
合計	366	3,660	117	3,546	96.9%

もりユニット			
ベッド数 (床)	延外泊日数 (人)	延利用者数 (人)	もり 稼働率
300	0	300	100.0%
310	12	298	96.1%
300	1	299	99.7%
310	10	300	96.8%
310	0	310	100.0%
300	0	300	100.0%
310	0	310	100.0%
300	24	276	92.0%
310	17	293	94.5%
310	0	310	100.0%
290	0	290	100.0%
310	0	310	100.0%
3,660	64	3,596	98.3%

別館 全ベッド					
月	日数 (日)	ベッド数 (床)	延外泊日数 (人)	延利用者数 (人)	長期稼働率
4	30	600	16	584	97.3%
5	31	620	30	590	95.2%
6	30	600	14	586	97.7%
7	31	620	10	610	98.4%
8	31	620	9	611	98.5%
9	30	600	5	595	99.2%
10	31	620	0	620	100.0%
11	30	600	24	576	96.0%
12	31	620	24	596	96.1%
1	31	620	28	592	95.5%
2	29	580	0	580	100.0%
3	31	620	21	599	96.6%
合計	366	7,320	181	7,139	97.5%

空床ショート			
ベッド数 (空床)	延利用者数 (人)	短期稼働率	全体稼働率
16	9	56.3%	98.8%
30	12	40.0%	97.1%
14	1	7.1%	97.8%
10	0	0.0%	98.4%
9	0	0.0%	98.5%
5	0	0.0%	99.2%
0	0	0.0%	100.0%
24	0	0.0%	96.0%
24	0	0.0%	96.1%
28	8	28.6%	96.8%
0	0	0.0%	100.0%
21	17	80.9%	99.4%
181	47	25.9%	98.2%

令和5年度年間行事等実施報告

リベラル別館

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練	健康管理・衛生管理	その他					
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容				
12月	4	にこにこカフェ 緋田理容来所	1	優先入所検討委員会	17	虐待防止委員会	5	本館避難訓練	25	小豆島町介護予防事業 法人評議員会		
	5	お楽しみ会(ご飯作り)	6	感染症対策委員会		身体拘束廃止委員会	20	BCP策定会議				
	11	お一人暮らし高齢者を励ます会	8	経営会議	19	事故防止委員会	28	軽費避難訓練	20	夜勤者健康診断		
		クリーン作戦		課長主任会議	20	衛生委員会						
	19	誕生会	9	リーダー会議	21	ユニット会議						
	21	月例祭		ノーリフティング委員会		勉強会(自宅でできる腰痛予防)						
		お楽しみ会(クリスマス会)	11	備蓄整理		行事企画運営委員会						
	28	餅つき	12	褥瘡防止委員会	25	職員会議						
			経営品質向上委員会									
			14 広報委員会									
			15 特殊詐欺対策研修会(中野晴) 排泄委員会									
1月	1	元旦祭	7	リーダー会議	22	ユニット会議	23	BCP策定会議	24	定期回診 (毎週火曜日)	金	小豆島町介護予防事業
		初詣	9	褥瘡防止委員会		勉強会(身体拘束・虐待防止について)	29	軽費避難訓練		夜勤者健康診断	27	ワックスがけ
		茶話会	22	誕生会	10	排泄委員会						
	2	茶話会	23	月例祭	11	経営会議						
	3	茶話会	29	体重測定		課長主任会議						
	8	緋田理容来所			15	経営品質向上委員会						
	9	クリーン作戦			16	感染対策委員会						
	10	とんど焼き			18	広報委員会						
		にこにこカフェ				身体拘束廃止委員会						
	12	新年会			19	虐待防止委員会						
17	せいけんじこども園来所			20	事故防止委員会							
19	心配事相談				行事企画運営委員会							
2月	2	にこにこカフェ	1	優先入所検討委員会	17	身体拘束廃止委員会	6	BCPオンライン指導	21	定期回診 (毎週火曜日)	金	小豆島町介護予防事業
	3	お楽しみ会(豆まき)	5	リーダー会議	18	行事企画運営委員会	26	軽費避難訓練		夜勤者健康診断		
	4	緋田理容来所		ノーリフティング委員会	19	広報委員会						
	9	利用者胸部レントゲン撮影	6	入浴施設の衛生管理に関する講習会(武宮)	20	事故防止委員会						
	13	クリーン作戦	9	経営会議	21	ユニット会議						
	16	せいけんじこども園来所		課長主任会議		勉強会(①看取りケアについて)						
	20	誕生会	12	感染症対策委員会		(②コンプライアンスについて)						
	22	月例祭	13	褥瘡防止委員会		(③ハラスメントについて)						
		インターンシップ	14	排泄委員会		衛生委員会						
			15	経営品質向上委員会	26	職員会議						
		17	虐待防止委員会									
3月	3	緋田理容来所	5	リーダー会議	19	経営品質向上委員会	5	避難訓練	27	定期回診 (毎週火曜日)	金	小豆島町介護予防事業
	4	にこにこカフェ		ノーリフティング委員会		事故防止委員会	28	軽費避難訓練		職員腰痛検査	13	法人理事会
	5	避難訓練	6	経営会議	21	優先入所検討委員会				夜勤者健康診断	25	法人評議員会
	7	せいけんじこども園来所		課長主任会議		運営推進会議						
	18	クリーン作戦		感染対策委員会		ユニット会議						
	19	誕生会	7	職業福祉のサポートフェア(西本花)		勉強会(①災害の際の緊急、感染について)						
	21	月例祭	12	褥瘡防止委員会		(②介護事故防止のリスクマネジメントの考え方)						
		お楽しみ会(花見外出)	15	排泄委員会		行事企画運営委員会						
		17	身体拘束廃止委員会	27	集団指導(中野)							
			虐待防止委員会	27	衛生委員会							
		18	広報委員会	28	職員会議							

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
デイサービスセンターサンシャイン

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→実習生の受入れ、施設内外の行事へ参加することができた。
- (2) 地域公益活動の実施
→毎月のクリーン作戦や小豆島中央高校との共同クリーン作戦、地元地区道普請へ参加することができた。
- (3) 地域との交流行事への参加
→行事への参加、出前講座へ参加することができた。
- (4) 受託事業の実施
→介護予防事業（小豆島町より受託）を年3回実施した。

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→稼働率は目標数値である80%を上回る81.3%まで上昇した。看護職員の不足は他事業所からのヘルプにて対応した。
- (2) 計画的な設備や車両の修繕、購入
→老朽化や経年劣化による設備や車両の修繕を行い利用者と職員の安全確保と設備の維持管理ができた。

【顧客の視点】

- (1) サービス内容の検討、職員の資質向上、利用者・家族の満足度向上
→アンケート調査を実施し分析結果を職員間で共有した。
→事故とヒヤリハット件数の集計と分析を行い事故再発防止に努めることができた。
→適切な利用者アセスメント、居宅介護計画に沿った通所介護計画を作成しサービスの質の向上に努めた。
→研修計画に沿って年7回の勉強会を開催し職員の資質向上に努めた。
- (2) SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標に利用者の健康管理実施
→利用者に健康維持（脱水予防、感染症予防、予防接種）に関する周知文書の配布や掲示を行った。

【業務プロセスの視点】

- (1) 業務の見直し、省力化、効率化
→通所3事業所の書式統一や業務改善ツールの使用に向けた検討を行うことができた。
- (2) サービスや活動内容の定期的な発信
→サービス提供風景や行事の開催について広報誌、ホームページ、SNSに掲載した。
- (3) 設備や備品の維持管理
→定期的に車両、循環浴槽ろ過機、チェアインバス、手すり、車椅子、その他設備の点検を行い、必要に応じて修理・修繕を行った。
- (4) 災害訓練の実施とBCP策定
→火災想定（年2回）、地震想定（年1回）、土砂災害想定（年1回）の避難訓練等を実施した。
→自然災害時のBCPを策定した。

- (5) 感染症対策と BCP 策定
 - 感染予防に関する研修会と毎月、委員会にて検討を行った。
 - 感染症発生時の BCP を策定した。

【学習と成長の視点】

- (1) 研修内容、実施方法の検討
 - 研修計画に沿って年 7 回の勉強会を開催し職員の資質向上に努めた。
- (2) 委員会活動への理解と参加
 - 担当職員が委員会へ参加し活動できた。
 - 委員会議事録を回覧し、委員会に出席していない職員も理解を深めることができた。
- (3) SDGs「8 働きがいも経済成長も」を目標に職員の満足度の向上
 - 職員意識調査を実施した。
 - 対象職員全員が有給休暇を年間 5 日以上取得できた。
- (4) 事業計画の進捗、定期的な見直し
 - 進捗管理表を活用し定期的な見直し及び修正することができた。

2. 事業活動総括

利用状況について、昨年度から徐々に回復傾向にあった稼働率・登録率は登録者数も順調に増え目標数値である 80%を上回る 81.3%まで上昇した。

事故報告について、事故報告書の集計及び分析を行った結果、報告件数は前年度より 3 件減少し、県に報告義務のある重大事故は 0 件であった。分析した結果、発生状況別にみると、発生場所で一番多いのは「ホール」で時間帯は「午前」「午後」同様にみられ「トイレ誘導時や送迎時」の「利用者自立動作中」に「転倒」する事故が多かった。また、車両事故は 0 件であった。

受託事業について、小豆島町介護予防事業(運動教室)は予定通り年 3 クール (1 クール 12 回) 実施できた。SDGs について、利用者には健康維持に関する周知文書や掲示物を配布した。また、職員は対象となる全職員が年 5 日以上の有給休暇を取得することができた。

3. 年間利用者数・利用者統計

別紙のとおり

4. 利用者稼働率

別紙のとおり

5. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他(建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等)

浴室海側の竹垣補修工事

通所介護(サンシャイン)

令和5年度 利用者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	8	8	9	5	9	8	9	9	7	8	8	8	96
要支援2	66	65	63	84	69	73	90	92	88	88	108	117	1,003
要介護1	223	244	224	237	238	249	234	226	183	204	193	196	2,651
要介護2	88	100	97	81	88	98	110	110	112	92	108	111	1,195
要介護3	121	124	93	103	112	111	112	121	107	97	92	91	1,284
要介護4	0	0	17	22	10	0	0	2	0	0	0	0	51
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	506	541	503	532	526	539	555	560	497	489	509	523	6,280

令和5年度 デイサービスセンターサンシャイン利用稼働率

	日数	延べ定員	延登録数	(%)	延利用者数	延定員に対する(%)	1日利用平均人数
4	25	625	541	86.6%	506	81.0%	20.2
5	27	675	584	86.5%	541	80.1%	20.0
6	26	650	528	81.2%	503	77.4%	19.3
7	26	650	553	85.1%	532	81.8%	20.5
8	26	650	551	84.8%	526	80.9%	20.2
9	26	650	568	87.4%	539	82.9%	20.7
10	26	650	607	93.4%	555	85.4%	21.3
11	26	650	610	93.8%	560	86.2%	21.5
12	26	650	617	94.9%	497	76.5%	19.1
1	24	600	527	87.8%	489	81.5%	20.4
2	25	625	537	85.9%	509	81.4%	20.4
3	26	650	547	84.2%	523	80.5%	20.1
年間	309	7,725	6,770	87.6%	6,280	81.3%	20.3

令和4年度 利用稼働率

月	延利用者数	延定員に対する(%)	1日利用平均人数
4	468	72.0%	18.0
5	476	73.2%	18.3
6	456	70.2%	17.5
7	414	63.7%	15.9
8	298	59.6%	14.9
9	235	58.8%	14.7
10	436	67.1%	16.8
11	455	70.0%	17.5
12	420	64.6%	16.2
1	412	68.7%	17.2
2	443	73.8%	18.5
3	520	77.0%	19.3
年間	5,033	68.2%	17.1

令和5年度 年間行事等実施報告

デイサービスセンターサンシャイン

項目	行事	職員研修・職員会議等				防災、安全管理		健康管理・衛生管理		その他	
		日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1週	3	新人オリエンテーション	27	職員会議	4	車両点検(業者委託)	19	衛生委員会	25	晴天(ゴキブリ防除)
		11	経営会議・課長主任会議	29	KASW理事会(三浦)	24	安全点検				
5月	17	13	広報委員会								
		17	地域活動推進委員会								
5月	17	9	経営会議・課長主任会議	19	勉強会(食中毒)	1	車両点検(業者委託)	24	衛生委員会	18	介護予防事業(第1期)
		19	広報委員会	26	職員会議	10	消防設備点検(田中電気)				
6月		23	地域活動推進委員会	29	KASW研修委員会(三浦)	24	BCP策定会議				
		19	ケア会議	29	職員会議	26	安全点検				
6月		13	経営会議・課長主任会議			2	車両点検(業者委託)	28	衛生委員会	5	小豆島高校合同クリーン作戦
		19	広報委員会			16	安全点検			5.6.8.9	介護予防事業(第1期)
7月	7	19	地域活動推進委員会			28	BCP策定会議				実習生2名
		24	KASW総会・研修会(三浦)								
7月	7	10	経営会議・課長主任会議	21	地域活動推進委員会	3	車両点検(業者委託)	19	衛生委員会		介護予防事業(第1期)
		15	小豆ブロックケアマネ研修会(三浦)	26	職員会議	19	BCP策定会議				
8月	4	18	広報委員会			26	安全点検				
		18	安全運転管理者講習(三浦)								
8月	4	10	経営会議・課長主任会議			2	車両点検(業者委託)	25	職員健康診断	14	インターンシップ
		22	地域活動推進委員会			22	BCP策定会議				
9月	2週	26	施設内研修(バリデーション)(大峯)			26	安全点検				
		28	職員会議								
9月	2週	2	KASW理事会(三浦)	21.22	全国社会福祉法人経営者大会(三浦)		車両点検(業者委託)	27	衛生委員会	7	出前講座
		8	経営会議・課長主任会議	25	ケア会議	25	安全点検			14.15	小豆島中学校職場体験
10月	2	11	小豆圏域ネットワーク会議講演会(三浦)	25	勉強会(ハラスメント)	27	BCP策定会議				介護予防事業(第2期)
		14	広報委員会	27	職員会議						
10月	2	19	地域活動推進委員会	28	BCP策定フォローアップ研修(三浦)						
		2	経営会議・課長主任会議			3	車両点検(業者委託)	25	衛生委員会	27	介護予防事業(第2期)
11月	8	11	広報委員会			12	BCP策定会議				晴天(ゴキブリ防除)
		12	施設内研修(BCP)			14	避難訓練(火災)				
11月	8	19	地域活動推進委員会			21	安全点検				
		24	職員会議			24	消防設備点検(田中電気)				
11月	8	13	経営会議・課長主任会議	20	地域活動推進委員会	2	香川県シェイクアウト	22	衛生委員会	16	介護予防事業(第2期)
		14	広報委員会	20	勉強会(感染症)	10	車両点検(業者委託)		インフルエンザ予防接種		実習生
12月	11	16	福祉サービス苦情対応研修会(三浦)	24	職員会議	18	安全点検				
		17	香川DWAT研修・訓練ワーキング(三浦)			22	BCP策定会議				
12月	28	8	経営会議・課長主任会議	26	職員会議	1	車両点検(業者委託)	20	衛生委員会	11.12.13	実習生
		14	広報委員会			20	BCP策定会議				
1月	1週	15	特殊詐欺・交通安全講習(中村)			28	安全点検				
		18	地域活動推進委員会								
1月	1週	10	経営会議・課長主任会議	16	香川DWATチーム員研修(三浦)	9	車両点検(業者委託)	24	衛生委員会		介護予防事業(第3期)
		12	勉強会(高齢者虐待・身体拘束廃止)	17	広報委員会	23	安全点検				
2月	1	13	KASW理事会(三浦)	24	職員会議	24	BCP策定会議				
		15	地域活動推進委員会								
2月	1	6	介護支援専門員研修(三浦)	27	職員会議	2	避難訓練(火災)	21	衛生委員会		介護予防事業(第3期)
		9	経営会議・課長主任会議			5	車両点検(業者委託)				アンケート調査
3月	1	13	地域活動推進委員会			6	BCP策定会議				
		19	広報委員会			19	安全点検				
3月	1	2	KASW研究大会(三浦)	19	集団指導(WEB)(三浦)	5	車両点検(業者委託)	27	衛生委員会		介護予防事業(第3期)
		6	経営会議・課長主任会議	25	ケア会議	22	安全点検				
3月	1	15	地域活動推進委員会	25	勉強会(アセスメント)						
		18	広報委員会	26	職員会議						

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
デイサービスセンター北のおひさま

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 様々なニーズに対応したサービスの提供
→年 1 回アンケート調査実施。利用者や家族からはサービス内容を満足との回答が多いが、その一方で数名の方からは要望や意見が上がった。個別に返答を行える場を作り対応した。
- (2) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→行事の共催・参加等、地域住民との交流の機会がほとんど持てなかったが、ボランティア団体（ホットハート）とは畑づくりを通じて交流が図れた。
- (3) 受託事業の実施
→土庄町元気アップ教室は感染予防対策を講じながら実施した。

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで少しずつコロナ禍前の状態に戻りつつある。しかし稼働率の目標値である80%には到達できなかったが、土庄町元気アップ教室に参加した利用者が当施設を希望されたことで利用登録者数に反映した。

【顧客の視点】

- (1) サービス内容の検討、職員の資質向上、利用者・家族の満足度向上
→定期（年2回）と身体状況に変化があった際にアセスメントの実施や居宅介護支援専門員に情報提供することで利用者や家族との良好な関係性を築くことができた。

【業務プロセスの視点】

- (1) 業務の見直し、省力化、効率化
→必要書類の書式を通所3事業所で統一し記入や転記作業の効率化が図れた。
- (2) サービスや活動内容の定期的な発信
→広報委員会委員を中心に広報誌、ホームページ、SNSに行事やレクリエーションの様子を発信することができた。
- (3) サービス内容の見直し
→レクリエーションを見直したことで行事（お楽しみ会）やキッチンカーなど珍しいサービスを取り入れたり、季節行事は施設周辺を外出、屋外で飲食したりマンネリ化を防ぐことができた。
- (4) 設備や備品の維持管理
→定期的な安全点検、車両点検（業者委託）、浄化槽点検及び清掃（業者委託）、エアコンフィルター清掃（業者委託）等を実施することで利用者と職員の安全を確保できた。
- (5) 災害訓練の実施とBCP策定
→避難訓練（火災想定、地震想定）実施することで利用者や職員の意識が向上した。また、BCPを策定し、法人全体で実施したBCP訓練の動画を視聴し理解を深めた。
- (6) 感染症対策
→感染症対策については施設内研修の資料を勉強会で基礎から実践に至るまで徹底的に学んだ。また、送迎時に利用者や家族の体調確認をしっかりと把握し感染予防に努めた。感染症対策として手洗い、うがい、定期的に施設内の消毒や小まめに室内の換気を行った。

【学習と成長の視点】

- (1) 研修内容、実施方法の検討
→研修計画に沿って年間6回実施し職員の資質向上に努めた。
- (2) 委員会活動への理解と参加
→通所3事業所から代表1名ずつが地域活動推進委員会と広報委員会に出席した。委員会議事録を回覧し、委員会に出席していない職員も理解を深めることができた。
- (3) SDGs「8働きがいも経済成長も」を目標に職員の満足度の向上
→勤務シフトについてはできる限り希望日に休日が取得できるよう調整した。また、有給休暇については対象の全職員が年5日以上取得できた。
- (4) 事業計画の進捗、定期的な見直し
→進捗管理表を活用しながら事業計画に沿って進めることができた。

2. 事業活動総括

利用状況について、新型コロナウイルス感染症も5類に移行したことで少しずつ以前の生活に戻り年間稼働率は76.4%で前年度の72.1%から4.3%上昇した。

事故報告について、事故報告書の集計及び分析を行った結果、報告件数は前年度より1件減少し、県に報告義務のある重大事故は0件であった。分析した結果、自立動作中にバランスを崩しての転倒や介護手順間違いによる私物の返却忘れ・間違いの事故が多かった。また、車両事故は1件で職員による確認不足による建物との接触事故であった。

SDGsについて、利用者には健康維持に関する周知文書や掲示物を配布した。また、対象の全職員が年5日以上の有給休暇を取得することができた。

3. 年間利用者数・利用者統計

別紙のとおり

4. 利用者稼働率

別紙のとおり

5. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

サンシェード設置

通所介護(北のおひさま)

令和5年度 利用者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	8	9	8	12	15	18	17	16	14	16	15	15	163
要支援2	67	66	71	73	74	71	76	75	71	70	41	31	786
要介護1	130	144	151	153	159	138	124	139	128	115	133	132	1,646
要介護2	121	122	113	124	99	116	123	119	146	141	155	166	1,545
要介護3	32	34	35	35	54	47	47	43	44	46	47	48	512
要介護4	6	3	2	0	0	0	0	8	8	7	8	27	69
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	364	378	380	397	401	390	387	400	411	395	399	419	4,721

令和5年度 デイサービスセンター北のおひさま利用稼働率

	日数	延べ定員	延登録数	(%)	延利用者数	延定員に対する(%)	1日利用平均人数
4	25	500	445	89.0%	364	72.8%	14.6
5	27	540	442	81.9%	378	70.0%	14.0
6	26	520	422	81.2%	380	73.1%	14.6
7	26	520	415	79.8%	397	76.3%	15.3
8	26	520	458	88.1%	401	77.1%	15.4
9	26	520	419	80.6%	390	75.0%	15.0
10	26	520	409	78.7%	387	74.4%	14.9
11	26	520	445	85.6%	400	76.9%	15.4
12	26	520	436	83.8%	411	79.0%	15.8
1	24	480	419	87.3%	395	82.3%	16.5
2	25	500	419	83.8%	399	79.8%	16.0
3	26	520	437	84.0%	419	80.6%	16.1
年間	309	6,180	5,166	83.6%	4,721	76.4%	15.3

令和4年度 利用稼働率

月	延利用者数	延定員に対する(%)	1日利用平均人数
4	363	69.80%	14.0
5	377	72.50%	14.5
6	378	72.70%	14.5
7	364	70.00%	14.0
8	385	71.30%	14.3
9	368	73.60%	14.7
10	393	75.60%	15.1
11	378	72.70%	14.5
12	351	67.50%	13.5
1	354	73.80%	14.8
2	344	71.70%	14.3
3	403	74.60%	14.9
年間	4,458	72.2%	14.4

総合施設長	業務執行理事	課長	担当

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
デイサービスセンターサンライズ西村

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアの受入れ、行事の共催・参加等、地域住民との交流の機会が持てなかったが、香川県安全協会から講師を招き、交通安全講習を利用者・職員で1時間程度受講し、改めて交通マナーの再認識ができた。
- (2) 地域公益活動の実施
→事業所前の側溝清掃を定期的には実施できなかった。
- (3) 地域との交流行事への参加
→出前講座への参加は担当が当たれば参加しているが今年度は依頼がなかった。

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→新規利用者の確保が低迷しており、稼働率の目標値である80%には到達できなかったが、感染症対策を講じ利用制限も最小限に抑えることで71.9%を維持することができた。
- (2) 計画的な設備の修繕、購入
→老朽化による浄化槽放流ポンプ交換、衣類乾燥機の交換、脱衣室床修繕を行った。その他、遮光・遮熱し空調設備効率を高め節電を目的としてサンシェードを設置。同様の目的で、昇降コードや調光ポールの破損又は故障し使用できなくなっていたブラインドの取替を行った。

【顧客の視点】

- (1) サービス内容の検討、職員の資質向上、利用者・家族の満足度向上
→年1回アンケート調査を実施し利用者、家族から概ね満足しているとの回答を得られた。
→事故再発防止の為、毎月事故防止委員会を中心に分析を行い、再発防止に向けた取り組みを行った。
→定期的な利用者アセスメント、介護支援専門員との情報共有、居宅介護計画に沿った通所計画の作成ができた。
- (2) SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標に利用者の健康管理実施
→健康で在宅生活を継続するための健康維持（脱水予防、感染症予防、予防接種等）に関する周知を
書面配布・口頭でもその都度声掛けを行った。体調の変化について速やかに家族、担当ケアマネ、
担当施設職員（シーサイドサンシャイン等）への報告を行った。

【業務プロセスの視点】

- (1) サービス内容の検討、職員の資質向上、利用者・家族の満足度向上
→年1回アンケート調査を実施し、要望があれば改善することで信頼を得ることができている。
→送迎時等対面での必要な報告や相談等行えている。
→事故再発防止に向けた検討や取り組みは随時行っている。1年間を通して苦情受付はなかった。
→計画書更新に伴い定期的にはアセスメント実施、介護支援専門員との情報共有や事業所内での周知も
行えている。
→年7回事業所内での勉強会を実施、振り返りや改善点等の話し合いが行えた。
- (2) SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標に利用者の健康管理実施
→健康で在宅生活を継続するための健康維持（脱水予防、感染症予防、予防接種等）に関する周知を

書面配布・口頭でもその都度声掛けを行った。体調の変化について速やかに家族、担当ケアマネ、担当施設職員（シーサイドサンシャイン等）への報告を行った。

【学習と成長の視点】

- (1) 研修内容、実施方法の検討
→勉強会計画を作成し実施、法人内研修にもオンラインで参加できた。
- (2) 委員会活動への理解と参加
→今年度は、担当委員会がなかったが、会議録の回覧により職員間での理解を深めることができた。
- (3) SDGs「8働きがいも経済成長も」を目標に職員の満足度の向上
→勤務シフトについてはできる限り希望日に休日が取得できるよう調整した。また、有給休暇については対象の全職員が年5日以上取得できた。
- (4) 事業計画の進捗、定期的な見直し
→進捗管理表の活用ができています。

2. 事業活動総括

利用状況について、年間稼働率は71.9%で前年度の71.7%から0.2%上昇した。長期入院や新規登録者の確保に伸び悩んだが70%台を維持することができた。引き続き、感染症対策を講じながら、レクリエーションや機能訓練は少人数で実施した。結果、アンケート調査ではほとんどの利用者や家族からサービス内容に満足していると回答を頂くことができた。

事故報告について、事故報告書の集計及び分析を行った結果、報告件数は前年度より6件減少し、県に報告義務のある重大事故は0件であった。分析した結果、発生場所で一番多いのは「脱衣所・事務所・ホール」で時間帯は「午後」に「預かり物の返却忘れ」をする事故が多かった。また、前年度に引き続き車両事故は0件であった。

SDGsについて、古新聞でゴミ袋を作ったり過去のレクリエーション材料をリサイクルしたり身近に取り組めることから行った。また、職員は全職員が年5日以上の有給休暇を取得することができた。

3. 年間利用者数・利用者統計

別紙のとおり

4. 利用者稼働率

別紙のとおり

5. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

浄化槽放流ポンプ交換

衣類乾燥機交換

脱衣室床修繕

サンシェード設置

ブラインド交換

通所介護（サンライズ西村）

令和5年度 利用者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	23	24	25	28	24	29	29	27	26	24	24	25	308
要介護1	167	180	190	191	193	204	179	194	184	166	161	190	2,199
要介護2	120	134	133	119	106	124	125	115	100	102	93	115	1,386
要介護3	18	32	27	37	39	46	41	56	54	65	68	78	561
要介護4	7	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	335	376	380	375	362	403	374	392	364	357	346	408	4,472

令和5年度 デイサービスセンター サンライズ西村利用稼働率

月	日数	延べ定員	延登録数	(%)	延利用者数	延定員に対する(%)	1日利用平均人数
4	25	500	360	72.0%	335	67.0%	13.4
5	27	540	405	75.0%	359	66.5%	13.3
6	26	520	397	76.3%	380	73.1%	14.6
7	26	520	394	75.8%	375	72.1%	14.4
8	27	540	411	76.1%	362	67.0%	13.4
9	26	520	430	82.7%	402	77.3%	15.5
10	26	520	407	78.3%	374	71.9%	14.4
11	26	520	436	83.8%	392	75.4%	15.1
12	26	520	415	79.8%	364	70.0%	14.0
1	24	480	377	78.5%	357	74.4%	14.9
2	25	500	402	80.4%	346	69.2%	13.8
3	26	520	438	84.2%	409	78.7%	15.7
合計	310	6,200	4,872	78.6%	4,455	71.9%	14.4

令和4年度 利用稼働率

月	延利用者数	延定員に対する(%)	1日利用平均人数
4	278	53.5%	10.7
5	326	62.7%	12.5
6	360	69.2%	13.8
7	380	73.1%	14.6
8	364	72.8%	14.6
9	411	82.2%	16.4
10	412	79.2%	15.8
11	421	81.0%	16.2
12	406	78.1%	15.6
1	323	67.3%	13.5
2	350	72.9%	14.6
3	368	68.1%	13.6
年間	4,399	71.7%	14.3

令和5年度 年間行事等実施報告

デイサービスセンターサンライズ西村

項目	行	職員研修・職員会議等			防災、安全管理			健康管理・衛生管理			その他		
		日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1週 20	週レク(運動レク実施)	24 ケア会議			4 車両点検(業者委託)	29 香川県頻回抗原検査電子申込	14 浄化槽点検					
		お花見ドライブ	24 勉強会(法令遵守)			20 香川県交通安全講習		24 浄化槽点検					
		交通安全講習	27 職員会議			30 安全点検		25 ゴキブリ駆除(晴天)				25 ACフィルター清掃(香川美装)	
5月		週レク(運動レク実施)	22 ケア会議			1 車両点検(業者委託)		16 浄化槽点検					
			22 勉強会(食中毒)			15 消防設備点検(田中電気)		22 グリストラップ点検(ポラリス)					
			24 職員会議			31 安全点検		31 浄化槽点検					
6月		週レク(運動レク実施)	23 ケア会議			6 車両点検(業者委託)		22 浄化槽点検					
			29 職員会議			30 安全点検		29 浄化槽点検					
7月		週レク(運動レク実施)	21 ケア会議			3 車両点検(業者委託)		13 浄化槽点検					
			21 勉強会(高齢者虐待・身体拘束廃止)			30 安全点検		29 浄化槽点検					
			26 職員会議										
8月		週レク(運動レク実施)	21 施設内研修 高齢者の転倒(石床)			2 車両点検(業者委託)	14 頻回抗原検査	9 浄化槽点検					
			28 職員会議			31 安全点検	25 頻回抗原検査	21 浄化槽点検					
						25 職員健康診断	23 厨房清掃(香川美装)						
9月	4週	週レク(運動レク実施)	21 ケア会議			4 車両点検(業者委託)		9 浄化槽点検					
		敬老会	21 勉強会(ハラスメント)			29 避難訓練(火災)		23 浄化槽点検					
			27 職員会議			30 安全点検							
10月	27	週レク(運動レク実施)	12 施設内研修 BCP(長木)			3 車両点検(業者委託)		3 浄化槽点検					
		交通安全講習	18 香川県運営指導(長寿対策課)			23 消防設備点検(田中電気)		11 ACフィルター清掃(香川美装)					
			24 職員会議			27 香川県交通安全講習		25 浄化槽点検					
						31 安全点検		28 ゴキブリ駆除(晴天)					
11月	3週	週レク(運動レク実施)	16 福祉サービス苦情対応研修会(石床)			2 香川県シェイクアウト	6 インフルエンザ予防接種	10 食洗機部品交換(ホシザキ四国)					
		紅葉ドライブ	20 ケア会議			9 車両点検(業者委託)		10 浄化槽点検					
			20 勉強会(冬の感染症について)			30 安全点検		27 浄化槽点検					
			24 職員会議					28 館内ワックス掛け(香川美装)					
12月		週レク(運動レク実施)	15 特殊詐欺・交通安全講習(石床)			5 車両点検(業者委託)		11 浄化槽点検					
			26 職員会議			30 安全点検		29 浄化槽点検					
1月	1週	週レク(運動レク実施)	12 ケア会議			9 車両点検(業者委託)		23 浄化槽点検					
		初詣	12 勉強会(高齢者虐待・身体拘束廃止)			31 安全点検		31 浄化槽点検					
			24 職員会議										
2月		週レク(運動レク実施)	27 職員会議			5 車両点検(業者委託)		12 浄化槽点検					
						28 安全点検		28 浄化槽点検					
								アンケート調査					
3月		週レク(運動レク実施)	22 ケア会議			5 車両点検(業者委託)		9 浄化槽点検					
			22 勉強会(介護におけるアセスメントについて)			25 避難訓練(火災)		23 浄化槽点検					
			26 職員会議			31 安全点検							

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
グループホーム 北のおひさま

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 地域社会との交流
→地区道普請への参加だけでなく、コロナウイルス感染症が5類に引き下がった事で、4年ぶりに屋形崎地区太鼓訪問もあった。地域こども園や学生の受け入れを行い交流機会の確保につなげることが出来た。なかよしカフェについては実施が中止となっている。
- (2) 公益的な活動の取り組み
→本部クリーン作戦に参加することで法人内外部者との交流を図ることが出来た。
- (3) 委託事業の実施
→土庄町元気アップ教室（通所型サービスC）を、8月27日から開催（計12回）の実施

【財務の視点】

- (1) 安定した稼働率の確保
→退所者が出た場合、できる限りスムーズに入所できるよう関係機関との連携を図ることが出来た。
- (2) 消耗品などの見直し
→消耗物品については、トイレトペーパーやペーパータオルの単価の見直しを行い、購入先の変更を行った。また、電気使用量は前年度と比較し低下している。
- (3) 事業所の設備の見直し・検討
→エアコン等の電化製品は開設当時から使用しているものも多い。計画的な修繕・買替えを実施していく。

【顧客の視点】

- (1) 入居者・家族のニーズ把握
→入居者・家族には訪問時やアンケート調査を行い、意見や意向の確認に努めている。寄せられた意見や要望に対し全職員に周知を行い改善できるように努めている。
- (2) 安心安全で楽しみのある暮らしの確保（認知症ケアの実践）
→趣味や職歴などの生活歴を確認する事で、できる限り本人が望む暮らしが継続出来るように努め、入居者の満足度が少しでも向上するように努めた。

【業務プロセスの視点】

- (1) マニュアルの見直し
→ユニット会議等の場を通じて定期的にマニュアルの見直しを行い、業務改善に努めた。
- (2) 感染症予防
→基本的な感染症対策（手洗い、うがい等）の実施。法人間で感染症についてタイムリーな情報を共有し事業所に感染症対策についての啓発を実施した。また、事業所内での勉強会を行い、知識向上に努めた。
- (3) 防災への取り組み
→避難訓練やシェイクアウト訓練の実施を通じて災害への意識付けを行っている。地震・風水害のBCP作成をする事ができた。設備安全点検を毎月実施し、不具合がないかを確認している。不具合があれば修繕を行い、安全確保に努めることが出来た。
- (4) 働きやすい環境作り
→腰痛予防対策の一環として行っている就業前の体操は職員に浸透してきている。慢性的な腰痛を抱

えている職員もいる為、引き続き体操への取り組みや整理整頓、物品の配置換え等の環境整備を行っていく必要がある。

【学習の視点】

(1) 認知症ケアの技術向上

→定期的に事例に基づいた勉強会を実施している。意見交換を行う事で認知症ケアへの理解を深めるように努めた。外部研修に関しては一部の職員のみしか参加することが出来ていない為、次年度は色々な職員が研修に参加できる機会を設ける。

(2) 職員の資質向上

→事業所内にコロナウイルス陽性者が発生したことにより書面回覧となる月もあったが毎月のテーマに沿って勉強会を行い職員の資質向上に努めることができた。

2. 事業活動総括

令和5年度の入退去者については入居者6名、退居者5名となっており、平均年齢は89.1歳。平均介護度は2.11となっている。全体的な高齢化に伴い、ADLの維持・向上を念頭におき体操やレクリエーション・生活の中でリハビリの強化を目指した。また、感染防止に向け、ご利用者の健康管理に職員が一丸となり、体調管理にも注意を払い尽力した。

しかし、11月にご利用者10名、職員6名がコロナ陽性となった。幸いにも重症化した方はなかったが、活動量の低下等により認知機能及びADL低下に繋がってしまった方が数名いた。

楽しみのある生活を提供したいと、季節においての外出ドライブや、余暇活動を充実させ気分転換が図れるように支援を行った。又、日々の生活の様子を毎月発刊している「おひさま便り」に日常生活の様子とお手紙を添えて送付することで家族に安心して頂けるように努めた。

3. 年間利用者数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期	18	18	19	18	19	19	19	18	18	18	18	18	220
入居者数	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	6
退居者数	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	5
(内訳)	死亡 1名			法人内施設 3名			入院 1名			他施設・家族引き取り0名			

4. 利用者統計

別紙のとおり

5. 利用者稼働率

別紙のとおり

6. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

洗濯機（うみユニット）

リビングエアコン（うみユニット）

食器乾燥機（やまユニット）

利用者名簿統計表(グループホーム)

令和6年3月31日現在

入所前住所	男 性	女 性	計
土庄町	4	14	18
合 計	4	14	18

年齢別	男 性	女 性	計
65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	0	0	0
75歳以上80歳未満	0	1	1
80歳以上85歳未満	1	2	3
85歳以上90歳未満	1	5	6
90歳以上95歳未満	1	4	5
95歳以上	1	2	3
合 計	4	14	18

最高(若)・平均年齢	男 性	女 性	計
最高年齢	97	98	—
最若年齢	84	76	—
平均年齢	90	89	89.1

入所期間	男 性	女 性	計
半年未満	0	2	2
半年以上1年未満	2	1	3
1年以上1年半未満	0	0	0
1年半以上2年未満	0	3	3
2年以上2年半未満	1	2	3
2年半以上3年未満	0	2	2
3年以上3年半未満	0	0	0
3年半以上4年未満	0	1	1
4年以上4年半未満	0	0	0
4年半以上	1	3	4
合 計	4	14	18
平均在所期間			3年5ヶ月

要介護度	男 性	女 性	計
要介護1	0	5	5
要介護2	2	6	8
要介護3	1	2	3
要介護4	1	1	2
要介護5	0	0	0
合 計	4	14	18
要介護度平均	2.75	1.93	2.11

令和5年度 GH北のおひさま稼働率

月	日数 (日)	ベッド数 (床)	延外泊日数 (人)	延利用者数 (人)	うみ 稼働率	ベッド数 (床)	延外泊日数 (人)	延利用者数 (人)	やま 稼働率	全体 稼働率
4	30	270	1	269	99.6%	270	0	270	100.0%	99.8%
5	31	279	0	279	100.0%	279	0	279	100.0%	100.0%
6	30	270	0	270	100.0%	270	6	264	97.8%	98.9%
7	31	279	25	254	91.0%	279	19	260	93.2%	92.1%
8	31	279	0	279	100.0%	279	23	256	91.8%	95.9%
9	30	270	0	270	100.0%	270	13	257	95.2%	97.6%
10	31	279	15	264	94.6%	279	0	279	100.0%	97.3%
11	30	270	11	259	95.9%	270	0	270	100.0%	98.0%
12	31	279	0	279	100.0%	279	0	279	100.0%	100.0%
1	31	279	12	267	95.7%	279	0	279	100.0%	97.8%
2	29	261	16	245	93.9%	261	0	261	100.0%	96.9%
3	30	270	12	258	95.6%	270	0	270	100.0%	97.8%
合計	365	3,285	92	3,193	97.2%	3,285	61	3,224	98.2%	97.7%

延外泊内訳

(うみ)

月	入院	外泊	空室	合計
4	0	0	1	1
5	0	0	0	0
6	0	0	0	0
7	25	0	0	25
8	0	0	0	0
9	0	0	0	0
10	0	0	15	15
11	11	0	0	11
12	0	0	0	0
1	12	0	0	12
2	15	0	1	16
3	0	0	12	12
合計	63	0	29	92

(やま)

月	入院	外泊	空室	合計
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	0	0	6	6
7	19	0	0	19
8	4	0	23	27
9	0	0	13	13
10	0	0	0	0
11	0	0	0	0
12	0	0	0	0
1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
合計	23	0	42	65

令和5年度年間行事等実施報告

グループホーム北のおひさま

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月	1	おもてなしカフェ			1	新入職員オリエンテーション	14	避難訓練	1	体重測定	2	安全点検
	5	花見ドライブ			11	経営会議・課長主任会議				みなと診療所往診 (毎週金曜日)		
	15	リゾートカフェ			12	経営品質向上委員会			6	利用者定期採血		
	17	家族会			13	広報委員会			7	利用者定期採血		
					18	ユニット会議・勉強会			19	衛生委員会 夜勤者健康診断		
				27	職員会議							
5月	1	おもてなしカフェ			9	経営会議・課長主任会議			1	体重測定	2	安全点検
	3	ふるさと市			11	富士見高校SDGs研修会(金田)				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	15	消防設備保守点検
	15	リゾートカフェ			16	経営品質向上委員会					26	小豆島町介護予防事業
	17	サンシャインマルシェ			17	虐待防止委員会						
					18	出前講座(金田)			24	新型コロナワクチン接種 (9.12.16.19)		
					19	広報委員会				衛生委員会		
				24	職員会議・運営推進会議 身体拘束適正化検討委員会 BCP策定会議							
6月	1	おもてなしカフェ			13	経営会議・課長主任会議	12	避難訓練	1	体重測定	2	安全点検
	5	小豆島中央高校合同クリーン作戦			15	経営品質向上委員会				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	13	新入職員歓迎会(WEB)
	6	フクミキッチンカー来所			19	広報委員会			8	利用者定期採血		
	11	蛸狩り			20	ユニット会議・勉強会			28	衛生委員会		
	15	リゾートカフェ			29	職員会議						
	18	家族会										
	19	フクミキッチンカー来所										
30	フクミキッチンカー来所											
7月	1	おもてなしカフェ			10	経営会議・課長主任会議	11	避難訓練	1	体重測定	2	安全点検
	15	こまめカフェ			13	経営品質向上委員会				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	2	屋形崎自治会清掃
	25	退職校長会			17	ユニット会議・勉強会					14	小豆島町介護予防事業
	28	家族会			18	広報委員会			19	衛生委員会		
	30	土用丑の日			19	BCP策定会議						
					25	職員会議・運営推進会議						
8月	1	おもてなしカフェ			10	経営会議・課長主任会議	16	避難訓練	1	体重測定	2	安全点検
	17	ミニ運動会			14	広報委員会				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	27	元気アップ教室
	20	家族会			17	経営品質向上委員会				利用者健康診断・定期採血 (1.3.10.17.22)		
					18	虐待防止委員会						
					21	法人内研修(転倒について)(中村・金田)			25	サンシャイン集団健康診断		
					22	BCP策定会議						
					26	法人内研修(バリエーション)(森・金田)						
					26	身体拘束適正化検討委員会						
				28	職員会議							
9月	1	おもてなしカフェ			8	経営会議・課長主任会議	14	避難訓練	1	体重測定	2	安全点検
	4	土庄町高齢者訪問			12	経営品質向上委員会				みなと診療所往診 (毎週金曜日)		元気アップ教室 (3.20.27.24)
	10	北浦地区合同運動会			14	広報委員会						
	15	こまめカフェ			22	ユニット会議・勉強会						
	20	おはぎ作り(お楽しみ会)			27	職員会議・運営推進会議			27	衛生委員会		
	27	施設内敬老会				BCP策定会議						

令和5年度年間行事等実施報告

グループホーム北のおひさま

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
10月	1	おもてなしカフェ	2	経営会議	12	避難訓練	1	体重測定	2	安全点検
	11	北浦子ども園交流会	3	課長主任会議				みなと診療所往診 (毎週金曜日)		元気アップ教室 (1.8.15.22.29)
	12	屋形崎地区太鼓訪問	11	広報委員会				利用者定期採血	13	小豆島町介護予防事業
	15	湊崎地区秋祭り見学	12	BCP研修会			5	衛生委員会 新型コロナワクチン接種 (6.10.17)	22	屋形崎地区道普請
	24	白寿御祝い(2名)	17	経営品質向上委員会					23	消防設備保守点検
	31	ホットハート(芋抜き)	20	ユニット会議・勉強会					24	晴天ゴキブリ駆除
		24	職員会議							
11月	1	おもてなしカフェ	13	経営会議・課長主任会議	2	シェイクアウト実施	1	体重測定	2	安全点検
			16	安全運転管理者講習会WEB(金田)				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	5	元気アップ教室
			27	職員会議・運営推進会議(書面)			10	インフルエンザ予防接種	10	小豆島町介護予防事業
			ユニット会議・勉強会(書面)			24	インフルエンザ予防接種			
			虐待防止委員会(書面)							
12月	1	おもてなしカフェ	8	経営会議・課長主任会議			1	体重測定	2	安全点検
	15	こまめカフェ	12	経営品質向上委員会				インフルエンザ予防接種	10	元気アップ教室
	24	クリスマス会		広報委員会				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	17	元気アップ教室
	28	餅つき	15	身体拘束適正化検討委員会			7	利用者定期採血		
		門松づくり	22	ユニット会議・勉強会			20	衛生委員会		
			28	職員会議						
1月	1	おもてなしカフェ(茶話会)	10	経営会議・課長主任会議	22	避難訓練	1	体重測定	2	安全点検
	2	茶話会(書初め)	15	経営品質向上委員会				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	12	サンシャイン新年会(WEB)
	3	茶話会(福笑い・かるた)	16	香川DWATチーム員研修I(金田)				衛生委員会		
	6	初詣(伊喜末八幡宮)	18	広報委員会			24			
	11	鏡開き(ぜんざい作り)	19	ユニット会議・勉強会						
	15	こまめカフェ	23	BCP策定会議						
	22	お楽しみ会(カラオケ)	24	職員会議・運営推進会議						
	27	北浦文化展(北浦公民館)								
	28	邦楽演奏会(土庄中央公民館)								
2月	1	おもてなしカフェ		小規模多機能型サービス等計画 作成担当者研修(金田)2/1~2/2	27	総合防災訓練	1	体重測定	2	安全点検
	3	節分(豆まき)	6	BCPオンライン指導(金田)				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	16	小豆島町介護予防事業
	14	パレンタインデー	9	経営会議・課長主任会議			8	利用者定期採血		
	15	こまめカフェ	15	経営品質向上委員会			21	衛生委員会 夜勤者健康診断		
	18	大部作品展示会(大部公民館)	19	広報委員会						
			20	ユニット会議・勉強会						
			23	虐待防止委員会						
			27	職員会議						
3月	1	おもてなしカフェ	2	KASW研修会(金田)			1	体重測定	2	安全点検
	3	ひな祭り	5	リーダー会議				みなと診療所往診 (毎週金曜日)	15	小豆島町介護予防事業
	14	お楽しみ会(ホワイトデー)	6	経営会議・課長主任会議						四国医療福祉専門学校実 習受け入れ(3/21~3/29)
	15	こまめカフェ		認知症介護基礎研修WEB(竹原)			27	衛生委員会 夜勤者健康診断		
	28	お楽しみ会(ミニ運動会)	7	地域ケア会議(金田)						
			19	経営品質向上委員会						
			20	ユニット会議・勉強会						
			27	職員会議・運営推進会議						
		29	身体拘束適正化検討委員会							

★行事では、上記以外でユニット毎でレク、リハビリ体操、散歩、ドライブを行っている

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
居宅介護支援事業所サンシャイン

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 利用者の状況に応じたサービス提供の検討
→専従2名体制だった為、町からの緊急的依頼や軽費入所者に対して早期の対応を行い法人内外のサービス事業所との連携を図り丁寧な対応を行うことができた。
- (2) 地域ニーズの把握
→各サービス機関等との連携は図れたがインフォーマルサービスの提案は十分に出来なかった。地域の方との関わりが不十分であったと思われる。
- (3) クリーン作戦の参加 (14海の豊かさを守ろう)
→毎月のクリーン作戦に必ず参加し、定期的に花壇や事業所周辺のゴミ拾い等も積極的に実施できた。

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→法人内の各サービス事業所の収益を上げる為に、まず軽費利用者にてできるだけ必要なサービス追加調整の役割として専従2名体制で提案に努めたが、利用者重度化で職員の負担や退所方向の話が進み意見が噛み合わず、新規獲得しても減る一方であった。町からの新規も少なく、件数が伸びなかった。

【顧客の視点】

- (1) 苦情解決の仕組み強化
→苦情に対しては、ほとんどなかったが、必要時には真摯な対応に努めた。
- (2) 高齢者虐待の対応への取り組み (3)すべての人に健康と福祉を
→研修や勉強会等に積極的に参加ができた。
- (3) サービス内容等の適切性、利用者ニーズに応じたサービス提供
→利用者・家族の意向を確認しながら、必要なサービス提供を行うことができた。
- (4) 接遇力向上につながる取り組みの検討
→施設内研修等に参加し、情報共有しながら意識しながら業務に取り組むことができた。

【業務プロセスの視点】

- (1) 規程内容の確認とマニュアル内容の見直し
→規程やマニュアルについては計画的に十分な見直しが出来なかった。
- (2) 業務の省力化・業務改善の検討 (8働きがいも経済成長も)
→専従2名体制だった為、常に相談できる環境で情報共有ができてゆとりも出来効率が上がった。又、他事業所に相談しながら情報交換ができて業務省力化に努めることができた。ケアプランデータ連携システム導入については島内ではあまり必要性がない為、各事業所保留である。
- (3) 利用者定員の見直し
→専従2名体制であったが、軽費との連携が難しく稼働率が上がらない状況が続いた。収支の関係で見直しの必要性があると考えられる。

【学習と成長の視点】

- (1) 研修実施内容の検討
→法人内で資料提供による研修方法や小豆郡の研修での参加ができた。ACPに関する勉強会には今年度は全く参加が出来なかった。
- (2) 事業計画等の定期的見直し
→事業計画内容については十分な見直しが出来なかった。

(3) 目標設定・人材育成についての実施

→ケアマネ取得・更新手続き等の希望者が少なく切実にケアマネ不足を感じる。ケアマネ業務の負担について国が理解出来ていないことが大きな問題でもある。法人内で少なくとも前向きにしようとしている者に対しての配慮が必要ではないか。時間・費用の負担等についても具体的に改善していく必要がある。

(4) 困難事例等に対する取り組み

→困難事例に対して行政や民生委員等を巻き込んでの地域ケア会議を行い、課題に対して向き合い改善に向けて取り組むことができた。又、行政に対して意見を伝える場ができ勉強になった。

2. 事業活動総括

令和5年度の利用総数は605名。稼働率平均は66%程度であった。専従2名と兼務体制で取り組んだが思った以上に件数は伸びなかった。

年度当初から軽費利用者中心に新規獲得と他事業所が担当している利用者を当事業所が担当していくつもりだったが、軽費職員の人員・経験不足から軽費利用者が重度化となると退所の方向で動く為、入退所が激しくその対応に追われた。その度に新規をとり業務の手間が増える。法人内のサービス利用を調整してできるだけ軽費で長く生活してもらおうとする自事業所の意向と相違がかなりあった。その為、協力体制が上手く噛み合わず悪循環が続いた。ケアマネジャーのモチベーション維持も難しくなった。

専従2名配置したが稼働率が上がらないことで人件費の問題も出てきた。だが、ケアマネ業務を収支だけで判断することは難しいと感じることが多かった。相談窓口であり調整役として丁寧な対応が信用になり繋げていく役割でもあると思うが、法人として根本的な体制や方向性を見直しが必要である。

3. 年間利用者数・利用者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	19	18	18	19	21	22	21	20	20	20	20	18	236
要介護2	12	11	12	12	13	15	15	15	14	14	15	15	163
要介護3	11	12	12	13	12	10	11	11	11	9	10	9	131
要介護4	5	6	6	6	4	3	4	6	6	4	2	1	53
要介護5	2	2	2	2	2	3	2	1	3	2	2	2	25
合計	49	49	50	52	52	53	53	53	54	49	49	45	608
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン件数	49	49	50	52	52	53	53	53	54	49	49	45	608

4. 利用者稼働率

別紙のとおり

5. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

特になし

令和5年度

居宅介護支援

上限76件		中野 (35件)	宮本 (35件)	三浦 (2件)	中尾 (2件)	田中 (2件)	稼働率
4月	実績	35	2	4	2	6	49
	登録	35	2	4	2	6	64.5%
5月	実績	33	6	1	2	6	48
	登録	33	6	1	2	6	63.2%
6月	実績	34	11	0	1	4	50
	登録	34	11	0	1	4	65.8%
7月	実績	35	12	0	2	3	52
	登録	35	12	0	2	4	68.4%
8月	実績	34	14	0	1	3	52
	登録	34	15	0	1	3	68.4%
9月	実績	35	14		1	3	53
	登録	35	15		1	3	69.7%
10月	実績	33	16		1	3	53
	登録	33	16		1	3	69.7%
11月	実績	33	16		1	3	53
	登録	34	17		1	3	69.7%
12月	実績	33	17		1	2	53
	登録	34	17		1	3	69.7%
1月	実績	28	17		1	2	48
	登録	30	18		1	2	63.2%
2月	実績	29	16		2	2	49
	登録	31	17		2	2	64.5%
3月	実績	26	15		2	2	45
	登録	29	16		2	2	59.2%
合計	実績	388	156	5	17	39	605
	登録	397	162	5	17	41	66.30%

令和5年度年間行事等実施報告

居宅介護支援事業所

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	11	クリーン作戦	11	経営会議、課長主任会議 12 経営品質向上委員会 27 職員会議			19	衛生委員会		
5月	9	クリーン作戦	9	経営会議、課長主任会議 16 経営品質向上委員会 29 職員会議			24	衛生委員会		
6月	5	合同クリーン作戦	13	経営会議、課長主任会議 16 小豆島町介護支援専門員研修 15 経営品質向上委員会 29 職員会議			28	衛生委員会		
7月	10	クリーン作戦	10	経営会議、課長主任会議 15 小豆ブロック介護支援専門員連絡総会・研修会 13 経営品質向上委員会 19 BCP策定会議 26 職員会議			28	職員健康診断 衛生委員会		
8月	4	クリーン作戦	10	経営会議、課長主任会議 17 経営品質向上委員会 21 施設内研修(高齢者の転倒について) 28 職員会議					4	創立記念夏祭り
9月	8	クリーン作戦	8	経営会議、課長主任会議 13 経営品質向上委員会 27 BCP策定会議 27 職員会議			27	衛生委員会		
10月	5	クリーン作戦	6	経営会議、課長主任会議 18 経営品質向上委員会 23 職員会議			25	衛生委員会		
11月	13	クリーン作戦	13	経営会議、課長主任会議 15 経営品質向上委員会 24 職員会議	2	香川県シェイクアウト 17 SOSネットワーク見守り模擬体験訓練	22	衛生委員会		
12月	11	クリーン作戦	8	経営会議、課長主任会議 12 経営品質向上委員会 25 職員会議			20	衛生委員会	11	お一人暮らしを励ます会 (弁当配布)
1月	9	クリーン作戦	10	経営会議、課長主任会議 15 経営品質向上委員会 25 職員会議			24	衛生委員会		
2月	13	クリーン作戦	6	BCPオンライン研修 6 合同介護支援専門員研修会(BCP) 9 経営会議、課長主任会議 15 経営品質向上委員会 29 職員会議			21	衛生委員会		
3月	18	クリーン作戦	6	経営会議、課長主任会議 12 経営品質向上委員会 28 職員会議			27	衛生委員会		

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
訪問介護事業所サンシャイン

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 利用者の状況に応じたサービス提供の検討
→年1回のアンケート調査実施。満足度は高く、個別に対応できた。
- (2) 公益的な活動の取り組み
→SDG2(14)海の豊かさを守ろう、毎月クリーン作戦に参加することができた。
- (3) 事業所単位での収支管理
→毎月の稼働率の管理、介護報酬の把握をしている。業務内容に応じて勤務形態の調整に努めた。

【顧客の視点】

- (1) 自立支援に向けたサービス提供
→定期的、サービス内容変更の際にアセスメント、モニタリングを実施。ミーティングにて情報共有を行い利用者のQOLの向上に努めたが、状況・状態変化に応じた適切なサービス提供できていなく、サービス内容に差がでることもあった。
→利用者だけでなく、家族や環境にも目を向け個人の偏見や拘りのない援助と支援に努めた。
- (2) 苦情解決の取り組み強化
→会議にて苦情処理体制の確認を行った。
- (3) 事故の分析を実施
→サービス中利用者5件、車両事故4件、物品破損2件。車両、物品破損は全て注意不足であった。
事故再発予防に向け事故の把握・確認をして要因分析と対策を会議と書面で回覧して改善に取り組んだ。
- (4) 接遇力向上につながる取組の検討
→接遇マナーの基本の再確認を行い、利用者一人ひとりに向きあい意識向上に努めることができた。
→意識向上に努め安心感と安定した対応に努めた。

【業務プロセスの視点】

- (1) 規定内容の確認とマニュアル内容の見直し
→規定が変更になった際には回覧にて周知。マニュアル内容の見直しは不十分であった。必要時に応じて変更、見直しをしていく必要がある。
- (2) 業務の省力化・業務改善の検討
→必要書類の確認と見直しは定期的に行うことができなかった。
→残存能力を活用しながら主体的に生活できるケアに努め、腰痛予防のため毎日の体操を習慣としてきた。→ICT活用にて軽費老人ホーム、事業所内では情報共有と連携を図ることができた。
- (3) 利用者定員の見直し
→在宅での新規依頼は変動なし。軽費老人ホームの利用者は入退所が頻繁である。大きく増減ないが利用者40名以上でサービス提供責任者は2名必要な為2名で対応してきた。

【学習の視点】

- (1) 研修実施内容の検討
→毎月事業所内で研修実施、参加できない場合は書面で回覧。又、外部研修には参加できなかった為、資質向上の為参加していきたい。
- (2) 事業計画の定期的見直し
→進捗管理表が活用できなかった。

2. 事業活動総括

介護保険サービスでは、昨年度より件数2件減となるが、延数は1,160件増となる。在宅利用者はレベル低下、一人暮らしが困難な為、新規依頼は減少のままであるが、同法人の軽費老人ホームでは、ADL・IADL低下の為、毎日のサービスが必要な入所者が増加している。年々自立度の低下や介護の重度化によりニーズに沿ったサービス提供、関係機関との連携を図り情報共有に努めてサービス調整してきた。特養入所若しくは、他施設入所までのつなぎとして需要はあるものの、環境面や設備に限界があり入退所が著しく長期サービス利用に繋ぐことができなかった。

新型コロナウイルス感染症の為、他事業所が休止の場合感染症対策を行いサービス調整に努めた。生活していく上で重要な役目を担うサービスとして、日々の情報収集と確認、体調管理と感染症予防に努め個別にて対応してきた。

障がい者サービスでは、昨年度より件数10件減、延数としては169件減となる。介護負担軽減のため、レスパイト入院、施設入所があり、延数は減となった。訪問看護とのサービス提供は継続、情報共有に努め個々の身体の状況に応じてサービス提供を実施してきた。

介護保険、障がい共にレベル低下又、介護者負担軽減のため定期的なサービス提供が必要になってきている。利用者、家族のニーズに幅広く対応できるよう職員の資質、介護技術向上のため毎月の会議、ミーティングは今後も継続していく必要があり、情報共有に努める。

3. 年間利用者数

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(高齢)	37	35	33	35	36	39	41	41	39	37	39	37	449
延数(高齢)	389	448	368	333	365	379	379	358	319	312	356	379	4,385
件数(障がい)	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	18
延数(障がい)	16	11	12	14	6	9	8	8	8	8	6	8	114

4. 利用者統計

別紙のとおり

5. 利用者稼働率

別紙のとおり

6. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他(建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等)

特になし

訪問介護 稼働率

	介護(時間)	障害(時間)	合計(時間)	登録数
4月	294	16	310	39
5月	333	11	344	37
6月	281	12	293	34
7月	259	14	273	35
8月	276	6	282	37
9月	299	9	308	40
10月	306	8	314	42
11月	290	8	298	42
12月	256	8	264	40
1月	259	8	267	38
2月	297	6	303	40
3月	315	8	323	38
合計	3465	114	3579	463

令和5年度年間行事等実施報告

訪問・障害

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月			24	ヘルパー会議 " 接遇・倫理及び法令遵守	24	軽費避難訓練参加	19	衛生委員会		
5月			26	ヘルパー会議 " 身体拘束・虐待防止について	26	軽費避難訓練参加	24	衛生委員会		
6月			27	ヘルパー会議 " 利用者と理解とコミュニケーション	27	軽費避難訓練参加	19	衛生委員会		事業計画書見直し
7月			26	ヘルパー会議 " 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	26	軽費避難訓練参加	19	衛生委員会		
8月			23	ヘルパー会議 " 高齢者に必要な防災対策	23	軽費避難訓練参加				
9月			25	ヘルパー会議 " 緊急時・事故対応マニュアルの再確認	25	軽費避難訓練参加	27	衛生委員会		事業計画書見直し 規定・マニュアル見直し 業務内容見直し
10月			23	ヘルパー会議 " 認知症(基礎知識)及び認知症ケア	25	軽費避難訓練参加	25	衛生委員会		
11月			24	ヘルパー会議 " フレイルとは	2	香川シェイクアウト	20	衛生委員会 30 健康診断		
12月			28	ヘルパー会議 " ノーリフティングケア・腰痛予防	28	軽費避難訓練参加	20	衛生委員会		事業計画書見直し
1月			29	ヘルパー会議 " 訪問介護におけるリスクマネジメント 職場でのハラスメント防止にむけて	29	軽費避難訓練参加	24	衛生委員会		
2月			21	ヘルパー会議 " ストレスマネジメント	21	軽費避難訓練参加	15	健康診断 22 衛生委員会		
3月			28	ヘルパー会議 " 介護記録の書き方	23	軽費避難訓練参加	27	衛生委員会		事業計画書見直し 規定・マニュアル見直し 業務内容見直し

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
小規模多機能型居宅介護事業 サンリゾート

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

- (1) 民生委員、自治会、老人会、学校関係者、包括との繋がり強化
- (2) 地域のニーズの把握
- (3) 地域の環境保全の取り組み、地域貢献 ※SDGs (14)海の豊かさを守ろう
→こまめカフェは、令和5年度も小豆島町から事業受託し、「認知症カフェ」として開催。カフェには地域の方にも参加していただき、研修会を開催するなどマンネリ化した内容の見直しが行えた。こどもセンターとの交流は、こちらからアクションは起こしたが感染症等を理由に対面交流が来ず、交流が実施できなかった。

【財務の視点】

- (1) 登録者及び待機者の確保と稼働率変動に対する分析
- (2) 事業所の設備と備品、車両等を見直し、状況に応じた環境整備を行う
- (3) 物価高騰に対する対策
→人員の課題もあり、新規登録に繋がらず稼働率が低下している。次年度、各居宅介護支援事業所、包括、病院へ呼びかけを続けていく。

【顧客の視点】

- (1) 事故防止、再発防止にむけた取り組みの強化
- (2) 住み慣れた地域での生活が続けられるよう、小規模多機能の特性を活かし利用者の生活スタイルに合ったサービスの提供 ※SDGs (3) すべての人に健康と福祉を
- (3) 地域に開かれた施設づくり
- (4) 利用者の意欲向上、役割作り、生きがい促進出来る行事の企画。
→重大事故防止に向け、毎月の事故の分析、半期に1回の分析を行った。また、利用者の満足度調査を年度末に実施。利用者、ご家族のニーズに応じサービス調整している。

【業務プロセスの視点】

- (1) 運営推進会議の開催
- (2) 非常事態、自然災害に関する定期的な訓練の実施と BCP 策定
- (3) 持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組み
→毎月の火災避難訓練に加え、シェイクアウトも実施出来た。BCP も計画通り策定出来た。立入検査と消火訓練は消防との日程の都合が付かず、次年度の4月に延期となっている。

【学習の視点】

- (1) 職員のスキルや知識・ノウハウの育成育成
→毎月ケア会議に合わせ、研修実施出来た。テーマに合わせ委員会の担当職員が講師となり、現場職員が興味を持てる研修の開催が出来た。

2. 事業活動総括

コロナも5類に分類され少しずつコロナ前の状況に戻りつつある。各感染症の対策をしながら行事も積極的に企画し利用者の余暇活動の充実・生活機能低下の防止に努められた。各関係機関、居宅介護支援事業所との情報共有はしているが、人材面と連泊者のサービス調整で課題があり新規利用者の受け入れが積極的に出来なかった。小豆島町の事業受託を令和5年度も継続し認知症カフェを計画。毎月計画通り開催出来た。

3. 年間利用者数

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	19	17	17	18	19	19	18	17	17	17	16	19	
通い	319	302	284	330	347	322	322	280	306	306	232	282	3,632
泊り	179	164	149	173	178	167	182	154	174	178	118	144	1,960
訪問	48	51	45	47	46	10	32	19	19	22	23	22	384
合計	546	51	478	550	571	499	536	453	499	506	373	448	5,510

4. 利用者統計

別紙のとおり

5. 利用者稼働率

別紙のとおり

6. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

特になし

令和5年度（小規模多機能）

利用者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
要介護1	5	5	5	5	6	6	6	5	5	5	5	8	66
要介護2	6	6	5	6	5	5	6	7	7	7	6	5	71
要介護3	5	4	4	3	5	5	3	2	1	1	2	2	37
要介護4	1	1	2	3	2	2	2	2	3	3	2	3	26
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者数合計	19	17	17	18	19	19	18	17	17	17	16	19	213

令和5年度 小規模多機能 サンリゾート 利用稼働率

実績								
月	日数 (日)	定員 (25人)	登録者数	1ヶ月 (人)	途中利用 (人)	途中解除 (人)	稼働日数	延定員に対 する%
4月	30	750	19	18	1	1	505	67.3%
5月	31	775	17	16	0	0	482	62.2%
6月	30	750	17	17	0	0	510	68.0%
7月	31	775	18	18	2	0	545	70.3%
8月	31	775	19	19	1	0	569	73.4%
9月	30	750	19	19	0	2	530	70.7%
10月	31	775	18	17	0	0	496	64.0%
11月	30	750	17	16	0	1	456	60.8%
12月	31	775	17	17	1	0	514	66.3%
1月	31	775	17	17	0	1	524	67.6%
2月	29	725	16	16	0	0	433	59.7%
3月	31	775	19	18	1	1	534	68.9%
合計	366	9150	213	平均				66.6%

2名入院、1名途中解除、1名月末解除
 1名入院
 1名入院
 2名入院、1名途中解除
 1名入院、1名途中登録
 1名入院、1名途中解除
 2名入院、1名途中解除、1名途中利用

介護度別								
月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	2	5	6	5	1	0	19
5月	0	1	5	6	4	1	0	17
6月	0	1	5	5	4	2	0	17
7月	0	1	5	6	3	3	0	18
8月	0	1	6	5	5	2	0	19
9月	0	1	6	5	5	2	0	19
10月	0	1	6	6	3	2	0	18
11月	0	1	5	7	2	2	0	17
12月	0	1	5	7	1	3	0	17
1月	0	1	5	7	1	3	0	17
2月	0	1	5	6	2	2	0	16
3月	0	1	8	5	2	3	0	19

総合施設長	業務執行理事	担当者

(令和5年度) 年間行事

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1	GHおもてなしカフェ訪問	19	お楽しみ会(ポトフ)	11	経営会議・課長主任会議	20	避難訓練	19	衛生委員会	12	クリーン作戦
	3	お花見ドライブ(粟地ダム)	20	ごちそうの日	12	地域NW会議			19	夜勤者健康診断		
	4	お花見ドライブ(粟地ダム)			13	広報委員会(西本)			25	ゴキブリ駆除		
	5	お花見ドライブ(粟地ダム)			17	地域委員会(村本)						
	11	ドライブ(戸形)			18	研修委員会(大石)						
	13	ドライブ(戸形)			20	ケア会議・勉強会						
	15	こまめカフェ((三色団子)			21	BCP策定会議						
	18	散歩			24	職員会議						
5月	1	GHおもてなしカフェ訪問	22	T・M様誕生会	9	経営会議・課長主任会議	18	避難訓練			9	クリーン作戦
	3	園芸(さつま芋)	24	梅ジュース作り	10	地域NW会議					12	介護予防
	5	お楽しみ会(兜パイ)	24	S・O様誕生会	16	地域委員会(村本)					19	介護予防
	9	園芸(夏野菜)	25	ドライブ(三都方面)	18	ケア会議・勉強会					26	介護予防
	15	こまめカフェ(ヨーグルトパフェ)	26	お楽しみ会(玉ねぎのかき揚げ)	18	研修委員会(大石)						
	17	民謡「ちはや」訪問	27	散歩	22	運営推進会議・職員会議						
	17	サンシャインマルシェ										
	18	ごちそうの日										
6月	1	GHおもてなしカフェ訪問	21	梅ジュース作り	5	法人理事会	20	避難訓練	12	救命講習Ⅱ	2	介護予防
	2	ニコニコカフェ			5	小豆島中央高校合同クリーン作戦					9	介護予防
	4	ドライブ			14	経営会議・課長主任会議					16	介護予防
	7	ドライブ(岩ヶ谷)			14	新人歓迎会(オンライン)					23	介護予防
	9	ドライブ(光明寺)			14	地域NW会議					30	介護予防
	11	散歩			15	経営品質向上委員会						
	13	ドライブ(土庄方面)			19	広報委員会(西本)						
	15	こまめカフェ(梅クリームソーダ)			20	研修委員会(大石)						
17	おやつ作り(ジャガボール)			22	地域委員会(村本)							
7月	7	七夕(七夕ゼリー)			10	クリーン作戦	6	避難訓練	20	衛生委員会	7	介護予防
	10	子どもセンター交流			10	経営会議・課長主任会議					14	介護予防
	15	こまめカフェ(コーヒーゼリー)			10	夏祭り実行委員会					21	介護予防
					12	地域NW会議					28	介護予防
					13	経営品質向上委員会						
8月	1	GHおもてなしカフェ訪問			4	創立際 創立記念夏祭り	18	避難訓練			4	クリーン作戦
	4	夏祭り			9	地域NW会議						
	12	T・T様誕生会			10	経営会議・課長主任会議						
	15	こまめカフェ(梅ゼリー)			14	広報委員会(西本)						
	28	M・I様誕生会			17	経営品質向上委員会						
					18	研修委員会(大石)						
					18	ケア会議・勉強会						
					21	施設内研修						
				23	職員会議							
				26	バリデーション研修							

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
給食課

1. 達成目標（新年の目標）に関する達成状況

【地域公益の視点】

(1) 地域行事の強化

→春の地域交流昼食会はお弁当配布せずにサンシャインマルシェにてかきまぜ御飯を配布出来た。
秋の地域交流昼食会は地域の方に来ていただき、お弁当を提供することが出来た。お一人暮らし高齢者を励ます会はお弁当配布となった。おひさまカフェ等の地域行事も中止となり地域との繋がり強化は計画通りにはいかなかった。

(2) 地域公益活動への参加

→クリーン作戦への参加は、職員欠員の為、参加できていない。

(3) 受託事業の実施

→ふれあい弁当（毎週水・金）定期的に実施する事ができた。
→お一人暮らし高齢者を励ます会のお弁当作りは、例年より数量は少なかったが実施できた。

【財務の視点】

(1) 財務に関する数値分析

→冷凍食品の食材の価格比較を行い業者の見直しが行えた。
→事前に喫食人数を把握し、注文数を調節し食品ロスを減らすことができた。

(2) 修繕費や設備購入等、高額な費用の検討、見直し、改善（随時）

→修繕が必要な物は随時実施する事ができた。

(3) 雇用形態の検討

→今年度は雇用形態の見直しは行っていないが、必要に応じて検討する。

【顧客の視点】

(1) 利用者のニーズに応じたサービスの提供

→7月・1月に嗜好調査実施、集計、分析をすることができた。
→利用者の嚙下状態に合った食事の見直しは、現場職員から相談を受けての変更が多く、実際現場に行く時間が取れなかった。
→全部署の検食簿のコメント整理、分析、回覧を行い対応出来た。

(2) 定期的なアセスメント実施

→3ヶ月毎の見直しは出来ているが、きめ細やかな対応が必要である。
→退院後の状態変化には対応できているが、更なるきめ細やかな対応が必要である。

(3) 家族の意向に沿ったサービスの提供

→定期的に送付しているが、返信のない家族や要望の書かれていない家族がいて聞き取れていない家族もいる。
→担当者会議にはなるべく出席するように心掛けているが、開催時間によっては出席出来ない時が多かった。

(4) 利用者満足度向上

→旬の食材を使った食事の提供で見た目にも季節を感じてもらえる事は出来た。
→全部署の検食簿のコメント整理、分析、回覧を行い対応出来た。

(5) 事故の分析を実施

→事故報告書、ヒヤリハットを9月、3月に集計して分析を行い職員に回覧して再発防止に努めた。

【業務プロセスの視点】

- (1) 定期的なマニュアルの見直し
→9月、3月に修正、見直しする事ができた。
- (2) 災害時における、備蓄食品の見直し
→賞味期限が近くなれば使用している。今年度には期限の切れる商品が多くあった為、地元業者(宝食品)の商品の一部変更した。

【学習の視点】

- (1) 研修内容、実施方法の検討
→毎月衛生に関する勉強会を実施しているが、マナーについての勉強会は実施出来なかった。
→コロナで研修会が少なかったが、WEB等で参加できる物には参加したが、特定の職員しか参加出来なかった。
- (2) 給食の品質管理、衛生管理の徹底と安全確保
→毎月定期的に実施している。
→毎日実施しているが、決まった人が記入している事が多い。

2. 事業活動総括

令和5年度の部門の目標として「利用者の嗜好に合った食事の提供で満足アップを図る」に取り組んできた。コロナウイルスにて外出や面会制限された利用者にとって「食」に対しての日々の楽しみの役割は大きく、旬の食材を使った毎日の献立作成や見た目にも季節を感じられる行事食を心掛けている。

厨房を改修して10年以上経過しており、令和5年度は計画していなかったが修理、買い替えが必要になった厨房機器が多くあったが買い替え、修理を行う事ができた。計画的に出来るようにリストアップしていく。グリストラップの清掃を専門業者に依頼して、毎月定期的に清掃を確実に実施している。

昨年度には調理職員が1名入ったが、調理職員が1名減っている。職員の高齢化も進み、少ない人数でも食事提供を継続できるように工夫や、改善策を検討していく必要がある。

地域公益活動への参加の目標である月1回のクリーン作戦では、参加できない月があり、全員参加の目標が達成できなかった。また、コロナウイルスで地域との交流行事で一人暮らし高齢者を励ます会はお弁当の配布のみとなり、地域との繋がり強化は計画通りにはいかなかった。しかし、地域交流会にて、春は地域の方のみ集まっていたいただきお弁当を提供し、秋には弁当配布の代わりにかきませ御飯を配布出来た。形を変えて地域の方と交流できる機会ができてよかったと思う。

今後は、新生活様式を踏まえた行事の開催を検討しながら、地域に開かれた施設を目指し、交流の促進を図りながら地域に根ざしたサービスの提供に努めていきたい。

3. 給食ふれあい弁当宅配件数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	9	9	8	9	9	8	9	8	8	8	9	102
延数	104	112	118	84	84	81	74	76	69	62	68	69	1001

※延べ食数集計表については別紙参照

4. ふれあい弁当宅配延べ食数集計表

別紙のとおり

5. 研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等）

- ・ 厨房機器、生ゴミ処理機の保守点検（定期）
- ・ ゴキブリ駆除（年2回）
- ・ グリストラップ清掃（月1回）
- ・ 厨房内上部・換気扇・フード清掃（5月）
- ・ 栄養士室ワックス掛け（6月）
- ・ ロボクーブ(ミキサー)の容器交換(4月)
- ・ 包丁まな板殺菌庫の買い替え(4月)
- ・ ロボクーブ本体(小)の買い替え(4月)
- ・ 回転釜のバーナー交換(10月)
- ・ ミキサーのオイルシール交換(2月)

ふれあい弁当宅配便延べ食数集計表

給食課

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成31年度 令和元年度	136	158	113	125	127	120	130	131	101	114	117	125	1497
令和2年度	140	143	136	152	110	124	114	103	104	104	107	107	1444
令和3年度	108	97	102	94	78	89	79	59	63	67	61	61	958
令和4年度	64	50	43	62	62	77	72	93	64	78	69	98	832
令和5年度	104	112	118	84	84	81	74	76	69	62	68	69	1001
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
合計	416	402	399	392	334	371	469	462	401	425	422	460	5732

年間行事等実施報告

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容		内 容	日	内 容		
4月	3 20 21	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	7 11 20 24	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 13 19 25	衛生管理点検 検便 衛生委員会 ゴキブリ駆除	12 13 17	経営品質向上委員会(木香) 広報委員会(川本) 地域活動推進委員会(佐伯)
5月	2 17 18 22	にこにこカフェ 春の地域交流昼食会 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	6 9 19 22	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 11 24	衛生管理点検 検便 衛生委員会	16 19	経営品質向上委員会(木香) 広報委員会(川本)
6月	2 20 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	9 13 20 27	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 1 15 28	衛生管理点検 検便 検便 衛生委員会	15 19 22	経営品質向上委員会(木香) 広報委員会(川本) 地域活動推進委員会(佐伯)
7月	4 20 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	7 12 20 25	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 7 21 21	衛生管理点検 検便 検便 衛生委員会	11 19 21	広報委員会(川本) 経営品質向上委員会(木香) 地域活動推進委員会(佐伯) 利用者嗜好調査
8月	4 19 23	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	3 10 17 19 25	給食委員会(web) 経営会議 中堅者研修(木香) 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 4 18	衛生管理点検 検便 検便	6 15 17 18	夕涼み会(中止) 広報委員会(川本) 地域活動推進委員会(佐伯) 経営品質向上委員会(木香)
9月	2 20 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	3 8 20 26	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 1 15 21	衛生管理点検 検便 検便 衛生委員会	12 19 22	広報委員会(川本) 経営品質向上委員会(木香) 地域活動推進委員会(佐伯)

年間行事等実施報告

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
10月	3 20 21	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	3 6 20 25	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 13 23 26	衛生管理点検 検便 ごきぶり駆除 衛生委員会	17 18 21	広報委員会(川本) 経営品質向上委員会(木香) 地域活動推進委員会(佐伯)
11月	2 8 18 21	にこにこカフェ 秋の地域交流昼食会 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	4 8 18 22 29	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議 管内給食施設研修(川本)			毎日 10 14	衛生管理点検 検便 衛生委員会	14 18 21	広報委員会(川本) 経営品質向上委員会(木香) 地域活動推進委員会(佐伯)
12月	2 11 20 23 28	にこにこカフェ お一人暮らし高齢者を励ます会 誕生会 月例祭 餅つき	毎週	ふれあい弁当(水・金)	2 9 20 22	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 8 21	衛生管理点検 検便 衛生委員会	13 20 23 23	お一人暮らし高齢者を励ます会 経営品質向上委員会(木香) 地域活動推進委員会(佐伯) 広報委員会(川本)
1月	4 20 25	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	6 10 20 26	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 12 25	衛生管理点検 検便(ノロウイルス検査含む) 衛生委員会	1 12	元旦祭 経営品質向上委員会(木香)
2月	1 16 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	4 9 16 21	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 9 22	衛生管理点検 検便(ノロウイルス検査含む) 衛生委員会	13 14	広報委員会(川本) 経営品質向上委員会(木香)
3月	1 20 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭	毎週	ふれあい弁当(水・金)	3 9 20 24	給食委員会(web) 経営会議 給食会議・職員勉強会 職員会議			毎日 9 22	衛生管理点検 検便(ノロウイルス検査含む) 衛生委員会	13 14	広報委員会(川本) 経営品質向上委員会(木香)

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人サンシャイン会
事務課

1. 達成目標に関する達成状況

【地域公益の視点】

(1) 地域貢献活動への参加

→毎回ではないが、クリーン作戦への参加ができた。また、地域活動推進委員会が中心となって実施している、地域サロンにも参加することができた。

【財務の視点】

(1) 事務費、介護報酬の管理

→経営会議にて稼働率の確認はできた。

収支バランスより、常勤・非常勤の配置を考える必要があるが、夜勤ができる職員が制限されるため、収入が少ない部署でも常勤職員の配置が必要であり、今後の課題として残っている。

(2) 収支バランスの把握と補正予算の検討

→コロナ感染症による補助金や物価高騰対策補助金があり、補正予算時に全体的に見直しをすることができた。

(3) 計画的な設備の修理や修繕

→災害対策に必要な、備蓄食を保存する棚やポータブル発電機や発電機、土砂災害防止の土留め工事にて、突発的な支出があった。今後も、BCP 計画の見直しにより必要な物品の購入が必要となる可能性がある。

【顧客の視点】

(1) 苦情処理体制の見直し、統一化を図る。

→苦情は3件あり、第三者委員に報告済み。内容については解決することができている。

【業務プロセスの視点】

(1) 働き方改革関連法、女性活躍推進法を遵守し労働環境の整備を進める。

→労働基準局のヒアリングがあり、ハラスメント防止および母子健康管理に関する内容について就業規則の見直しを行い、周知することができた。

(2) 人材の確保と定着

→職員配置基準は満たしているが、短時間労働者を足して1名としている部署もあるため、余裕がない。職員の定着と新たな人材確保が今後も課題として残る。

(3) 非常災害時における連絡体制の確立

→ラインワークスの使用を検討する予定だったが、内容の見直しができなかった。BCPに沿って連絡体制の確保が必要である。

(4) 業務の効率化及び情報の共有化

→業務の効率化について、大きな取組は行えていない。通所介護では昨年導入した介護ソフトの活用に向けてRCSと内容について話し合いが続けることができている。

【学習の視点】

(1) すべての職員が健康に働ける環境の整備

→有給休暇は対象職員が年5日以上取得できたが、本来の職員のリフレッシュを目的とした有給休暇ではなく、傷病による有給取得を含めており、十分に活用されている状態ではない。

また、残業時間も事業所や個人により偏りがあるため、業務の見直しが必要。

(2) 資格取得、キャリアアップ支援

→介護支援専門員や加算に必要な介護福祉士資格取得にむけて、情報発信を行っているが、時間と費用を要するため、積極的に受講する人は居なかった。配置基準にも必要な資格であるため、受講しやすいシステム作りが必要。

(3) 事業計画書、事業報告書の管理

→進捗管理表を活用しPDCA様式で進める。(9月、3月)

→上期終了時に見直しできたが3ヶ月毎はできなかった。

2. 事業活動総括

令和5年度も稼働率については新型コロナの影響を受けず例年と比較して向上した事業所もあれば、稼働率が伸び悩んだ部署もあったが、今年度も、感染症に左右されず、収入が安定していた事業所や向上した事業所があったことや、感染症物品購入補助金や物価高騰に伴う補助金もあり、全体を通しての収支はマイナスにはならなかった。今後も、補助金に関してはその都度、申請を続けていきたい。

人材については、職員配置基準には達しているが、利用者の重度化に伴い、より、人手が必要になってきている。人件費の調整も必要であるが、他での出費も抑えながら、福利厚生等、職員が満足できるシステム作りを行い、人材の定着、確保に繋げたい。また、令和5年度は新たな資格取得者が居なかったため、資格取得がしやすい環境作りも必要である。

3. サンスマイル年間利用者数

サンスマイル												
11室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居住	10	10	11	10	10	10	10	10	10	10	11	11
空室	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0
サンスマイルⅡ												
4室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居住	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
空室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4. 年間計画実施内容・研修、会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容 別紙のとおり

5. その他（建物等の修理、修繕の実施、設備や備品等の整備内容等） 特になし

令和5年度 年間行事等実施報告

事務課

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		研修・出張		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	3	新人オリエンテーション	11	経営会議・課長主任会議					7	県議会議員選挙不在者投票
			19	衛生委員会					21	土庄町議選挙不在者投票
5月	17	地域交流マルシェ	9	経営会議・課長主任会議						消防設備点検
	25	監事監査	24	衛生委員会						
6月	5	理事会	13	経営会議・課長主任会議	12	普通救命講習Ⅱ			5	合同クリーン作戦
	26	評議員会会・新理事会	28	衛生委員会	16	経営品質向上活動勉強会(川西)				
7月	15	退職校長会訪問	10	経営会議・課長主任会議			26	薬剤師会簡易水道検査		
			19	衛生委員会						
8月	4	創立祭	10	経営会議・課長主任会議	24	香川県経営協セミナー前期(立花)	25	集団健康診断	7	建築設備点検
	4	創立記念夏祭り			25	経営品質向上活動勉強会(川西)				
9月	14	相撲甚句訪問	8	経営会議・課長主任会議						
	15	心配事相談日	27	衛生委員会						
10月			2	経営会議						山大電気電気点検
			3	課長主任会議						
			25	衛生委員会						
11月	2	香川県シェイクアウト	13	経営会議・課長主任会議	20.21	社会福祉会計簿記講座(立花)		インフルエンザ予防接種		
	8	地域交流昼食会	22	衛生委員会	22	県退職金共済制度説明会(坂下)				
	8	人権擁護相談・キャンペーン								
12月	11	お一人暮らし高齢者を励ます会	8	経営会議・課長主任会議						
	28	もちつき	20	衛生委員会						
1月	19	心配ごと相談日	10	経営会議・課長主任会議	22	香川労働局リアリング(立花)				
			24	衛生委員会						
2月			9	経営会議・課長主任会議	18	BCP指導(オンライン)	16	献血		
			21	衛生委員会			27	浄化槽水質検査		
3月	13	理事会	6	経営会議・課長主任会議	12	香川県経営協セミナー後期(立花)				
	25	評議員会	27	衛生委員会						

令和5年度 理事長出張報告

期間	研修・研修内容
4月	3 寒霞溪ロープウェイ60周年記念(寒霞溪) 7 全国経営者協議会常任協議員会(WEB) 25 調停
5月	2 JASW監事監査(WEB) 9 土庄調停協会定時総会(土庄裁判所) 10 香川県経営者協議会理事会・総会・研修会(高松) 11 全国軽費老人ホーム協議会正副理事長会・合同役員会(東京) 12 全国経営者協議会ブロック会議(岡山) 16 香川県少年警察補導員連絡協議会定例会(高松) 香川県福祉懇談会(高松) 18 全国経営者協議会総務・広報委員会(WEB) 19 全国経営者協議会研修会(青森) 22 全国経営者協議会総務・広報委員会(WEB) 27 日本ソーシャルワーカー協会総会(WEB) 29 政治連盟各ブロック幹事会(名古屋) 31 小豆圏域ネットワーク会議(サンリゾート)
6月	1 全国経営者協議会常任協議員会(東京) 2 全国経営者協議会総会(東京) 7 全国軽費老人ホーム協議会北海道ブロック初任者研修(北海道) 8 災害特命チーム(東京) あだちまさし政策セミナー(東京) 10 レジデンシャルケア研究会議(東京) 11 日本地域福祉学会(長野) 12 民間社会福祉施設振興財団理事会(高松) 香川県社会福祉協議会理事会(高松) 21 全国軽費老人ホーム協議会総会(東京) 23 全国経営者協議会ブロック会議(岡山) 29 香川県社会福祉協議会理事会(高松)
7月	4 香川県経営者協議会理事会(高松) 7 政治連盟正副幹事長会(東京) 全国経営者協議会常任協議員会(東京)

期間	研修・研修内容
7月	11 調停 14 あだちまさし氏懇談会(高松) 15 四国地域福祉実践セミナー(さぬき市) 25 調停 28 全国経営者協議会ブロック会議(WEB) 31 全国経営者協議会総務広報委員会(東京) 災害支援特別委員会(東京)
8月	4 全国経営者協議会常任協議員会(WEB) 7 香川県災害福祉支援ネットワーク(高松) 24 全国経営者協議会都道府県経営者協議会セミナー(高松) 新型コロナ施設間応援事業検討会(高松) 30 全国経営者協議会総務広報委員会(WEB) 31 香川県社会福祉大会運営委員会(高松) 香川県社会福祉協議会会長表彰審査委員会(高松)
9月	1 全国経営者協議会常任協議員会(WEB) 3 令和5年度総合防災訓練(さぬき市) 5 調停 香川県経営者協議会理事会(高松) 6 香川県福祉施設士会(高松) 11 全国軽費老人ホーム協議会四国ブロック(高松) 13 全国軽費老人ホーム協議会合同役員会(東京) 16 阿豆枳島神社参拝 20 全国経営者協議会総会(神戸) 政治連盟幹事会(神戸) 21.22 全国経営者協議会全国大会(神戸) 26 香川県民間社会福祉施設振興財団理事会(高松) 28 BCP策定フォローアップ研修(高松)
10月	3 全国軽費老人ホーム協議会基礎研修(WEB) 5 小豆島町の福祉と医療の推進会議(小豆島町) 6 全国経営者協議会常任協議員会(WEB) 10 香川県災害派遣福祉チーム登録研修(高松)

期間	研修・研修内容	期間	研修・研修内容
10月	12 全国軽費老人ホーム協議会東北ブロック(WEB・東京) 全社会福祉協議会福祉懇談会(東京) 13 福祉ビジョン21世紀セミナー(東京) 16 総合開発取締役会 19 香川県福祉大会(高松) 21 調停相談会(イマージュセンター) 雄勝で地域医療を支える医師を育てた(WEB) 24 調停 29 池田とよひと後援会総会(高松) 30 全国経営者協議会ブロック会議(WEB)	1月	25 令和5年度第3回小豆島町の福祉と医療の推進会議 26 全国経営者協議会ブロック会議(WEB) 30 総務・広報委員会(東京)
11月	1 SOSネットワーク関係者会議 10 全国経営者協議会総務・広報委員会(東京) 衛藤晟一議員と語る(東京) 14 全国軽費老人ホーム協議会職員研究大会・合同役員会(東京) 16 香川県社会福祉審議会(高松) 令和5年度福祉サービス苦情対応研修会(WEB) 17 SOSネットワーク見守り模擬訓練 21 SOSネットワーク関係者反省会 28 調停	2月	2 全国経営者協議会常任協議員会(WEB) 6 第2回社会福祉連携協働セミナー(高松) 8 香川県経営者協議会理事会(高松) 13 調停 14 中国・四国ブロック災害支援セミナー(WEB) 15 福祉施設支援チーム打合せ(WEB) 16 全国軽費老人ホーム協議会四国ブロックセミナー(高松) 19 老健事業(WEB) 22 全国経営者協議会ブロック会議(WEB) 26 全国軽費老人ホーム協議会理事会(WEB) 28 小豆圏域合同連絡会(サンリゾート)
12月	1 政治連盟全国経営者協議会常任協議員会(東京) 4 老健事業(WEB) 7 全国軽費老人ホーム協議会役員会(高松) 9 レジデンシャルケア研究会議幹事会・研究会議(東京) 12 全国経営者協議会総務・広報委員会(東京) 衛藤晟一と明日を語る会(東京) 21 令和5年度第2回小豆島町の福祉と医療の推進会議 22 全国経営者協議会ブロック会議(WEB) 27 令和5年度香川県災害派遣福祉チーム活動訓練(高松)	3月	2 調停相談会(イマージュ) 7 全国経営者協議会常任協議員会(東京) 8 全国経営者協議会総会(東京) 12 香川県経営者協議会理事会・総会(高松) 15 老健事業(WEB) 18 かがわ健康福祉機構理事会(高松) 香川県社会福祉協議会理事会(高松) 19 全国軽費老人ホーム協議会生活支援基礎研修(WEB) 22 香川県民間社会福祉施設振興財団理事会 26 調停 27 佐伯報恩会理事会・小豆島総合開発取締役会
1月	5 全国経営者協議会正副会長会議・常任協議員会(WEB) 9 香川県経営者協議会理事会(高松) 16 令和5年度香川DWATチーム員研修 I(高松) 18 災害福祉支援委員会(東京) 23 老健事業(WEB)		